

第47回がん検診のあり方に関する検討会	参考資料 6
令和8年7月16日（木）	

被用者保険におけるがん検診の実施状況

厚生労働省健康・生活衛生局
がん・疾病対策課

2025年度保険者データヘルス全数調査について

■ 調査目的・内容

- 日本健康会議における「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」の目標数値（KPI）の達成状況等の把握のほか、データヘルスや予防・健康づくりの取組状況について全保険者（市町村国保、健保組合、共済組合、国保組合、協会けんぽ、広域連合）一斉に調査を実施
- 健保組合、共済組合、全国健康保険協会**（および国保組合）に対する調査票に**がん検診に関する項目も含む**

■ 回答期間

令和7年8月1日～9月12日

■ 調査対象年度

令和6年度

本調査結果に関する留意点

- 本調査は政府統計調査ではなく、回答が任意のアンケート調査である。
- 全国健康保険協会においては、注記がない限り、都道府県支部および船員保険を単位としてカウント。

「2025年度保険者データヘルス全数調査」（※）の概要

2025年9月25日時点

調査表		A	B				C
保険者	全体	市町村 国保	健保組合	共済組合	国保組合	全国健康 保険協会	広域連合
対象数 (母数)	3,424	1,716	1,370	85	158	48	47
保険者別 回答数	3,247	1,631	1,283	85	153	48	47
保険者別 回答率	94.8%	95.0%	93.6%	100%	96.8%	100%	100%

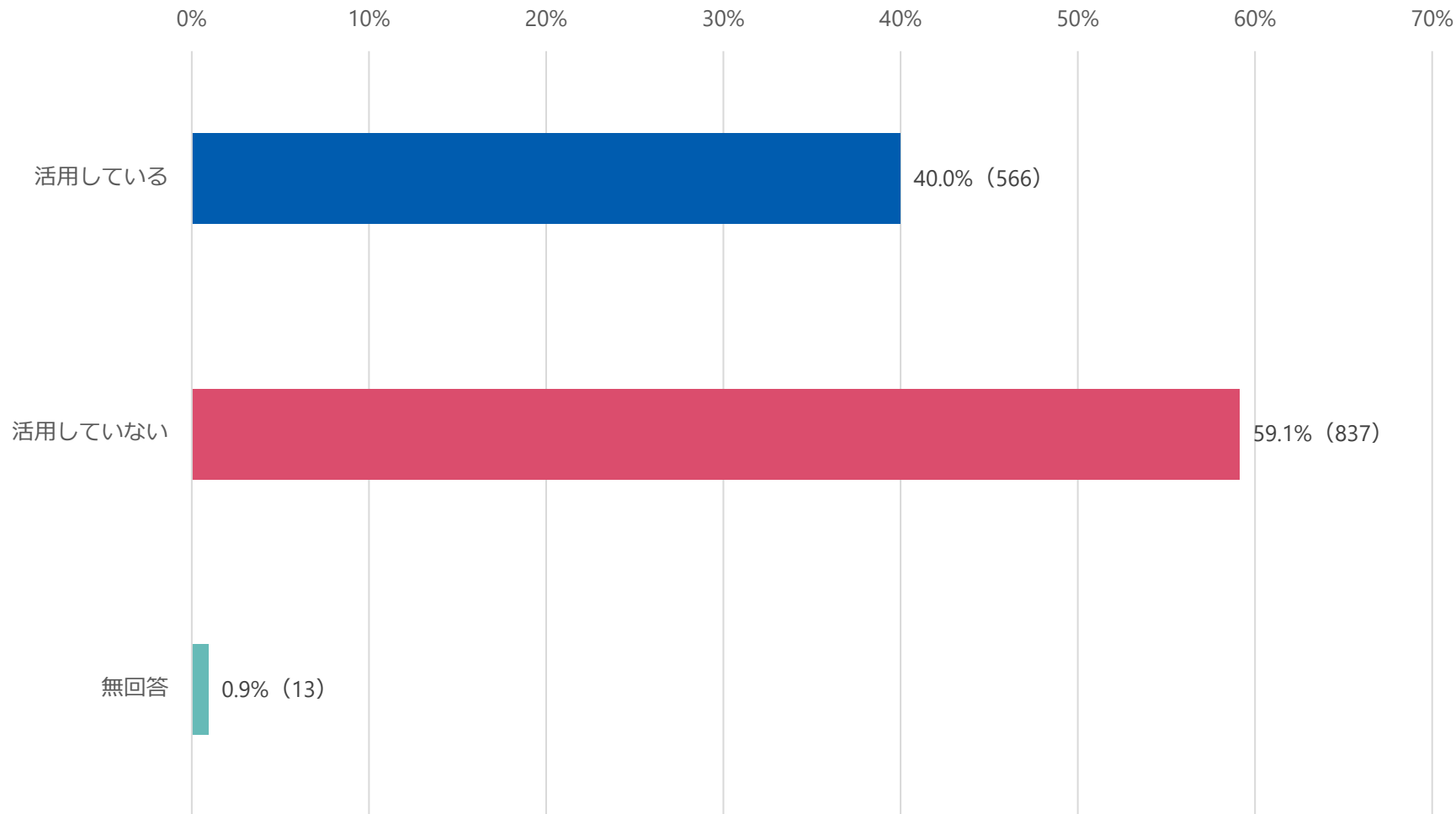
※小数点以下第2位を四捨五入しています

※本調査は厚生労働省の令和7年度高齢者医療制度円滑運営事業費補助金にて実施

「職域におけるがん検診に関するマニュアル」の活用状況 (全被用者保険者)

全被用者保険者
(n=1,416)

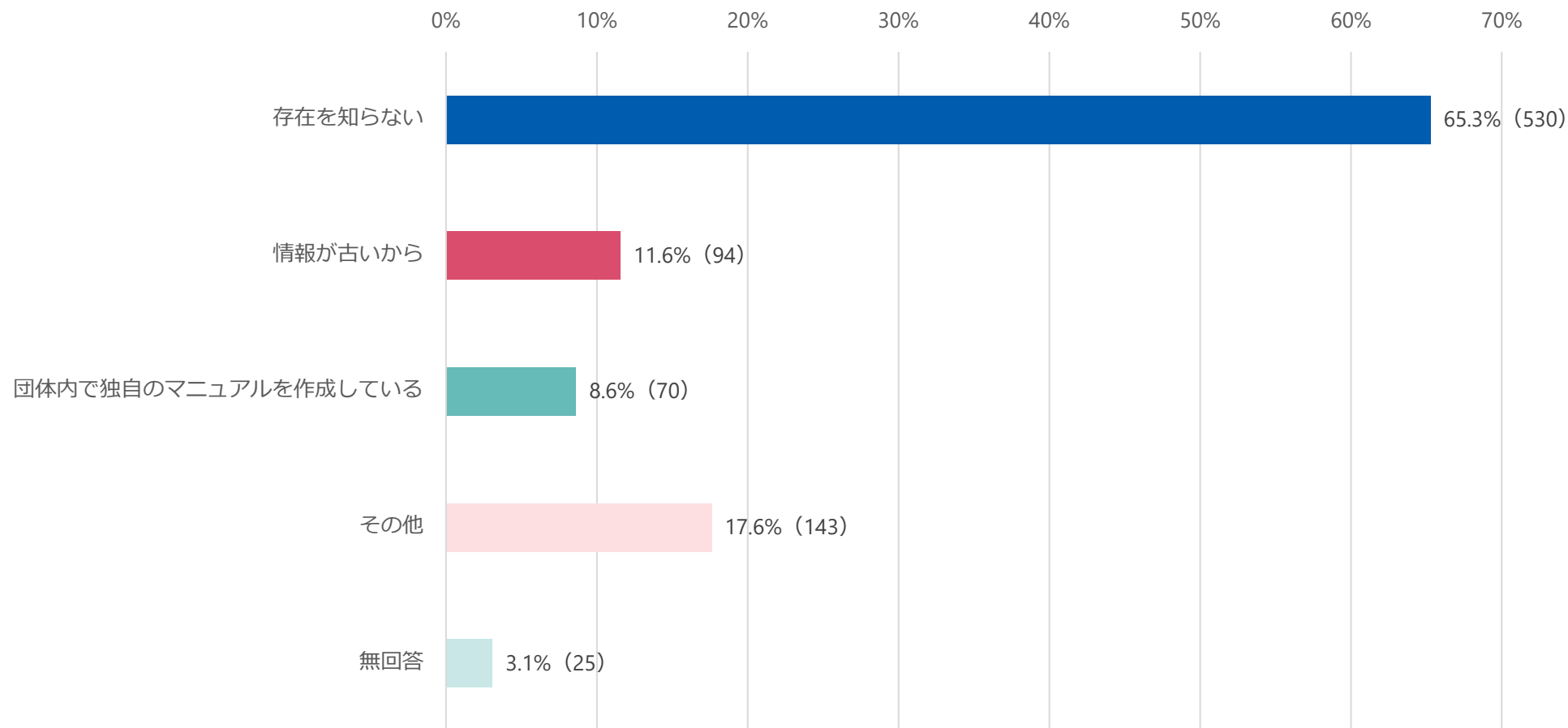
- 平成30年に公表した「職域におけるがん検診に関するマニュアル」について、活用している保険者は4割程度であった。



「職域におけるがん検診に関するマニュアル」を活用していない理由 (全被用者保険者)

全被用者保険者
(n=837)

- 活用していない理由で最も多い回答は、「存在を知らない」だった。



※複数回答可

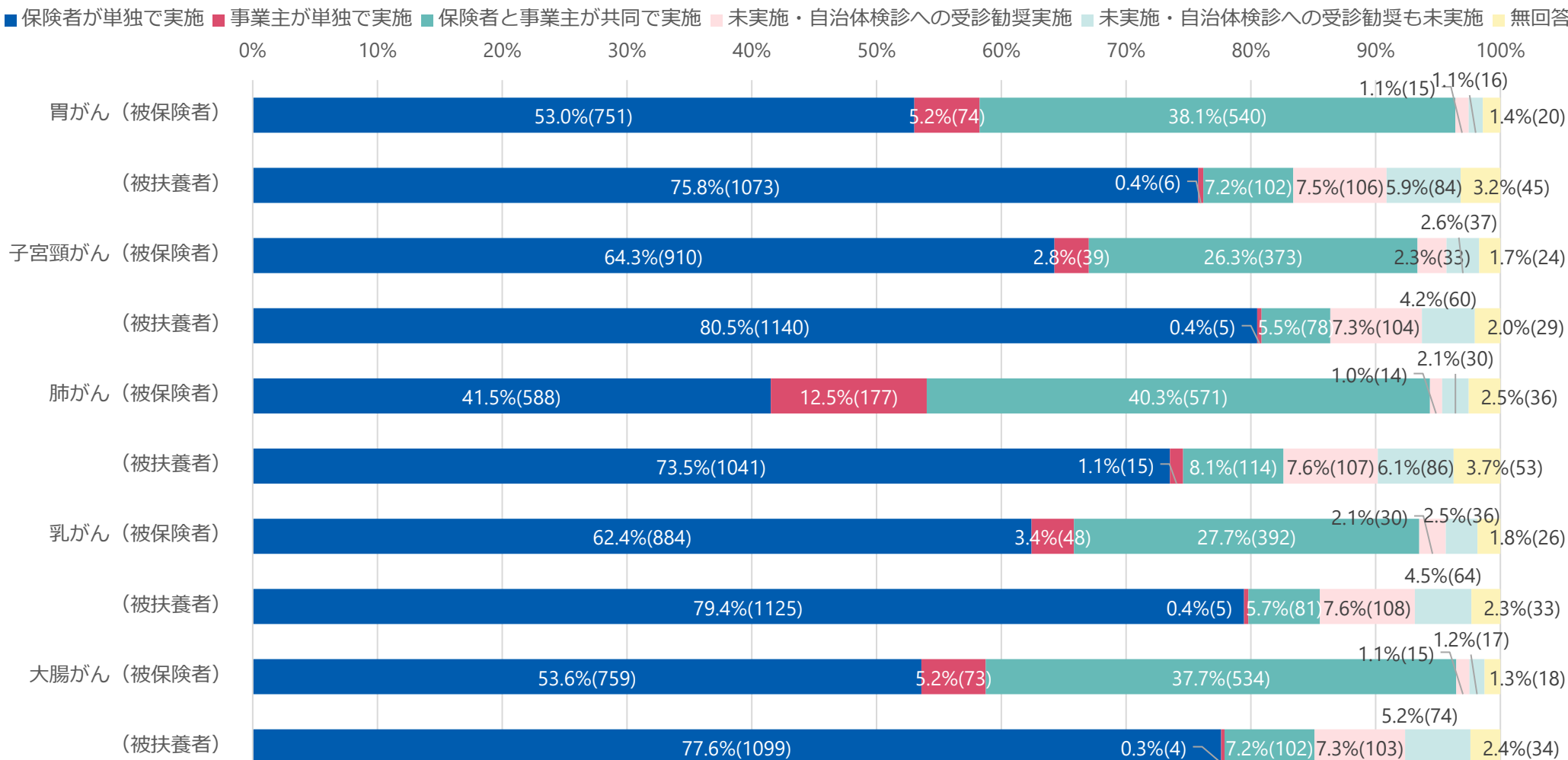
※「職域におけるがん検診に関するマニュアル」を活用していないと回答した保険者のみが回答対象（実施主体は問わない）

がん検診の実施状況（全被用者保険者）

全被用者保険者

(n=1,416)

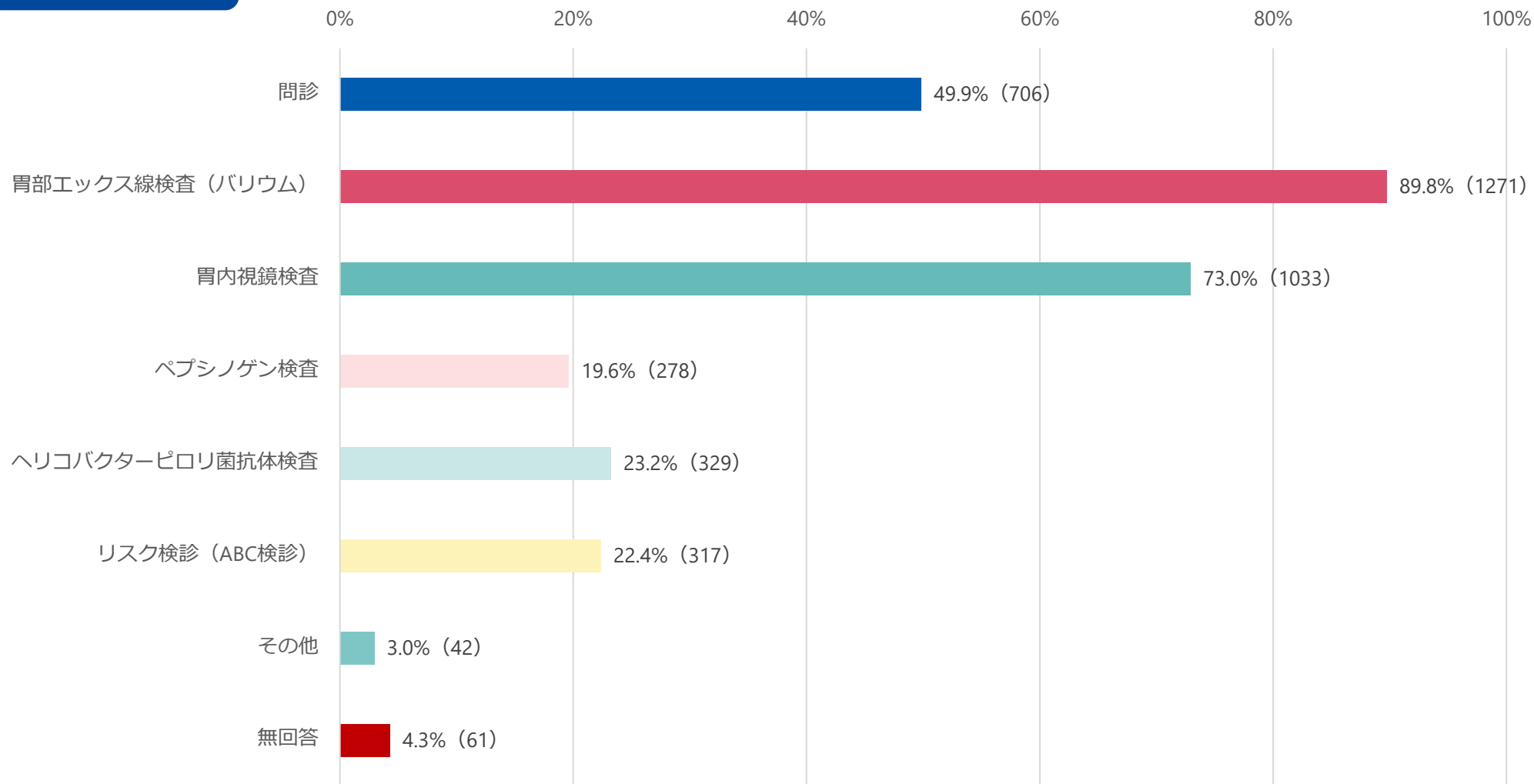
- いずれのがん検診においても、保険者が単独で実施している場合が多い
- 被扶養者に対するがん検診では、保険者単独のほか、自治体検診への受診勧奨を実施する保険者が一定数存在する



がん検診の検査実施方法（胃がん）

全被用者保険者

(n=1,416)

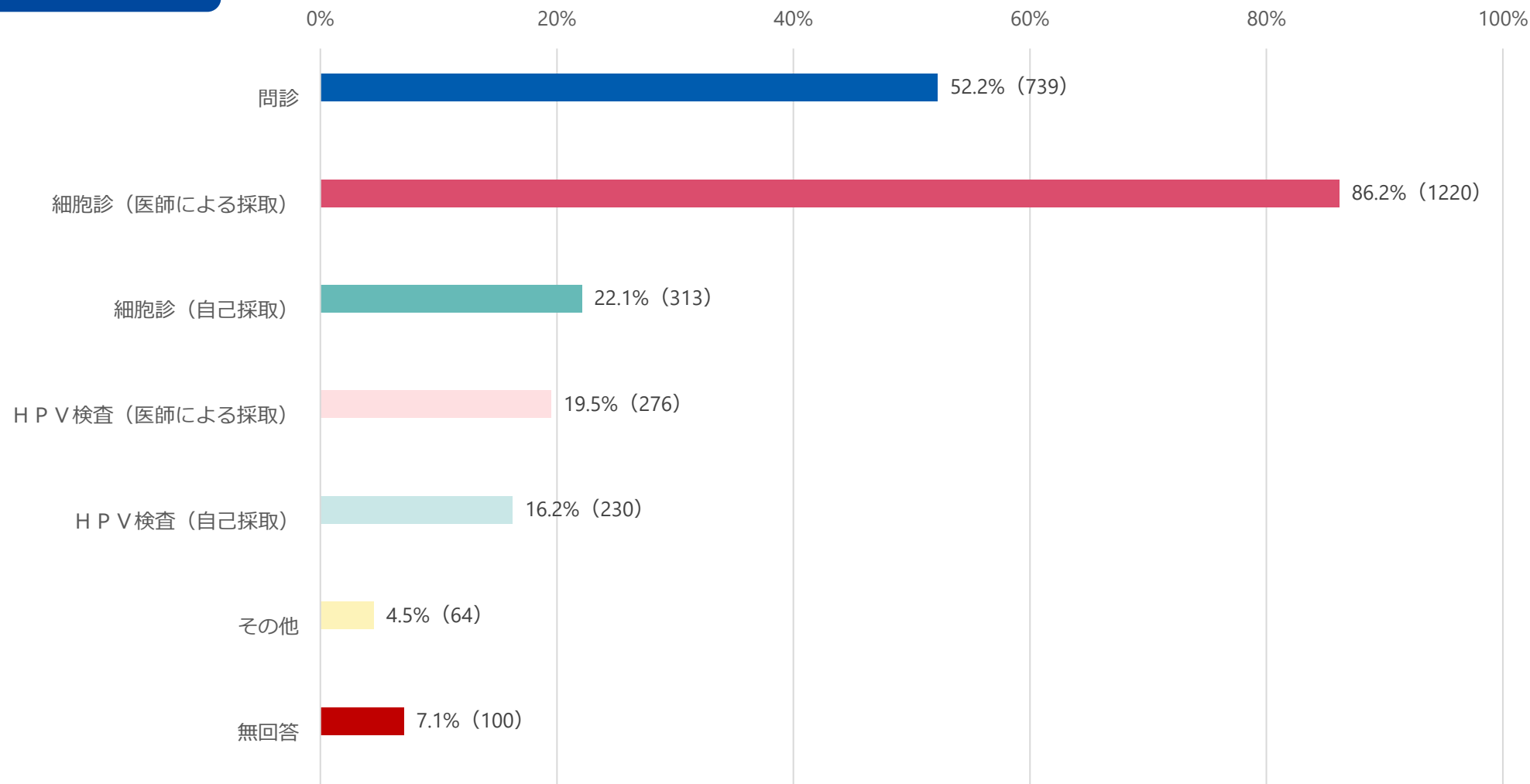


※複数回答可

がん検診の検査実施方法（子宮頸がん）

全被用者保険者

(n=1,416)

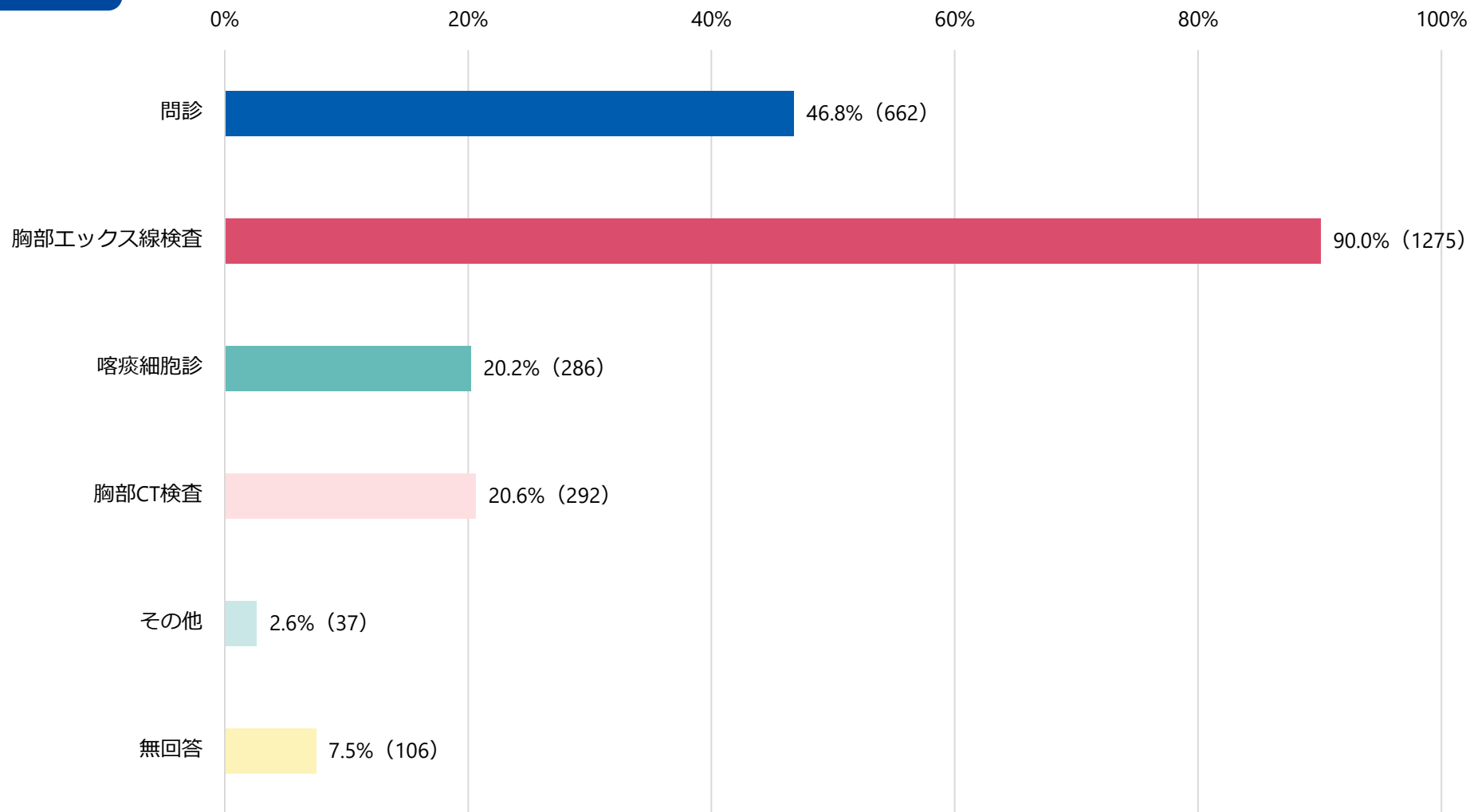


※複数回答可

がん検診の検査実施方法（肺がん）

全被用者保険者

(n=1,416)

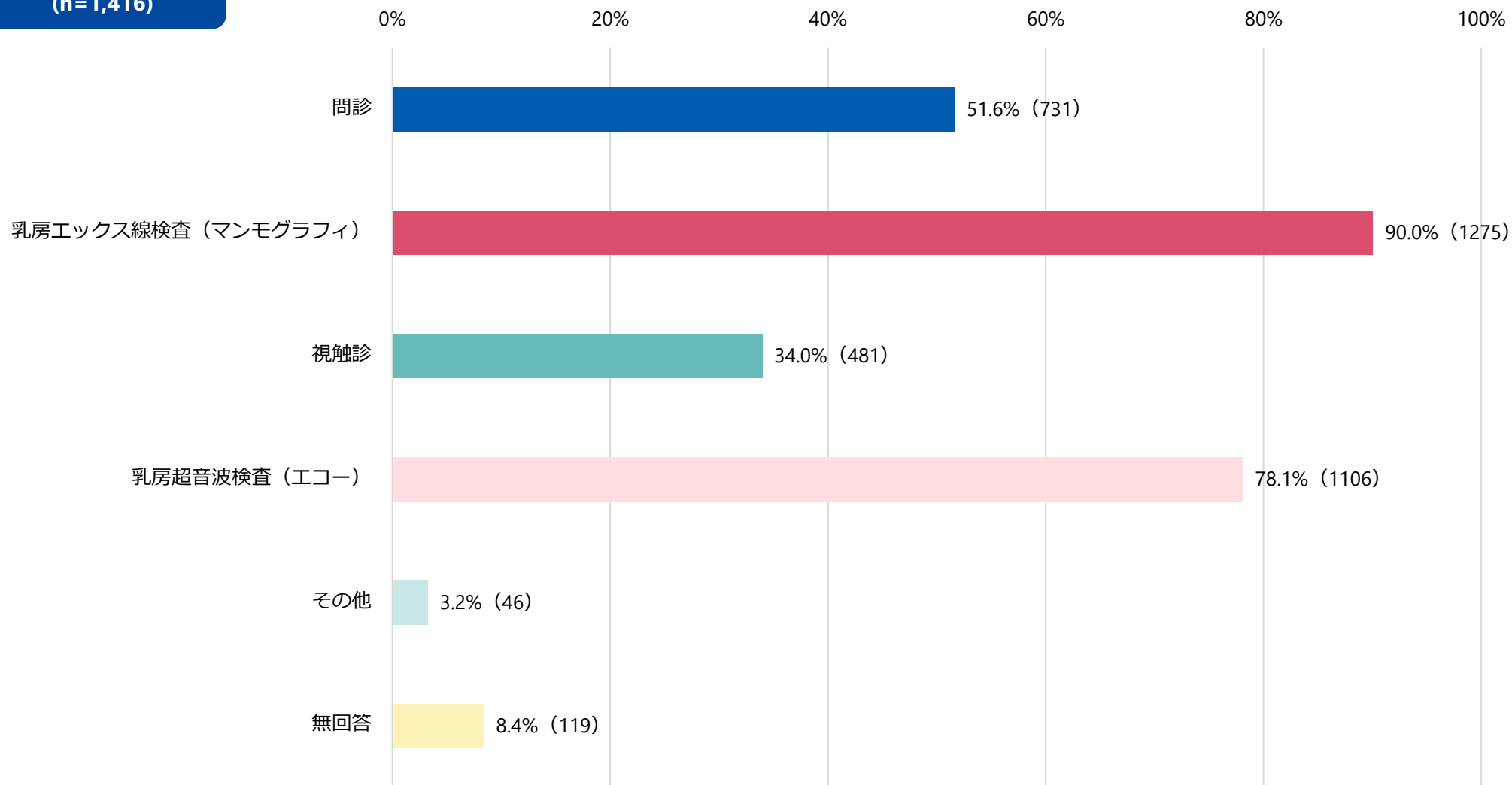


※複数回答可

がん検診の検査実施方法（乳がん）

全被用者保険者

(n=1,416)

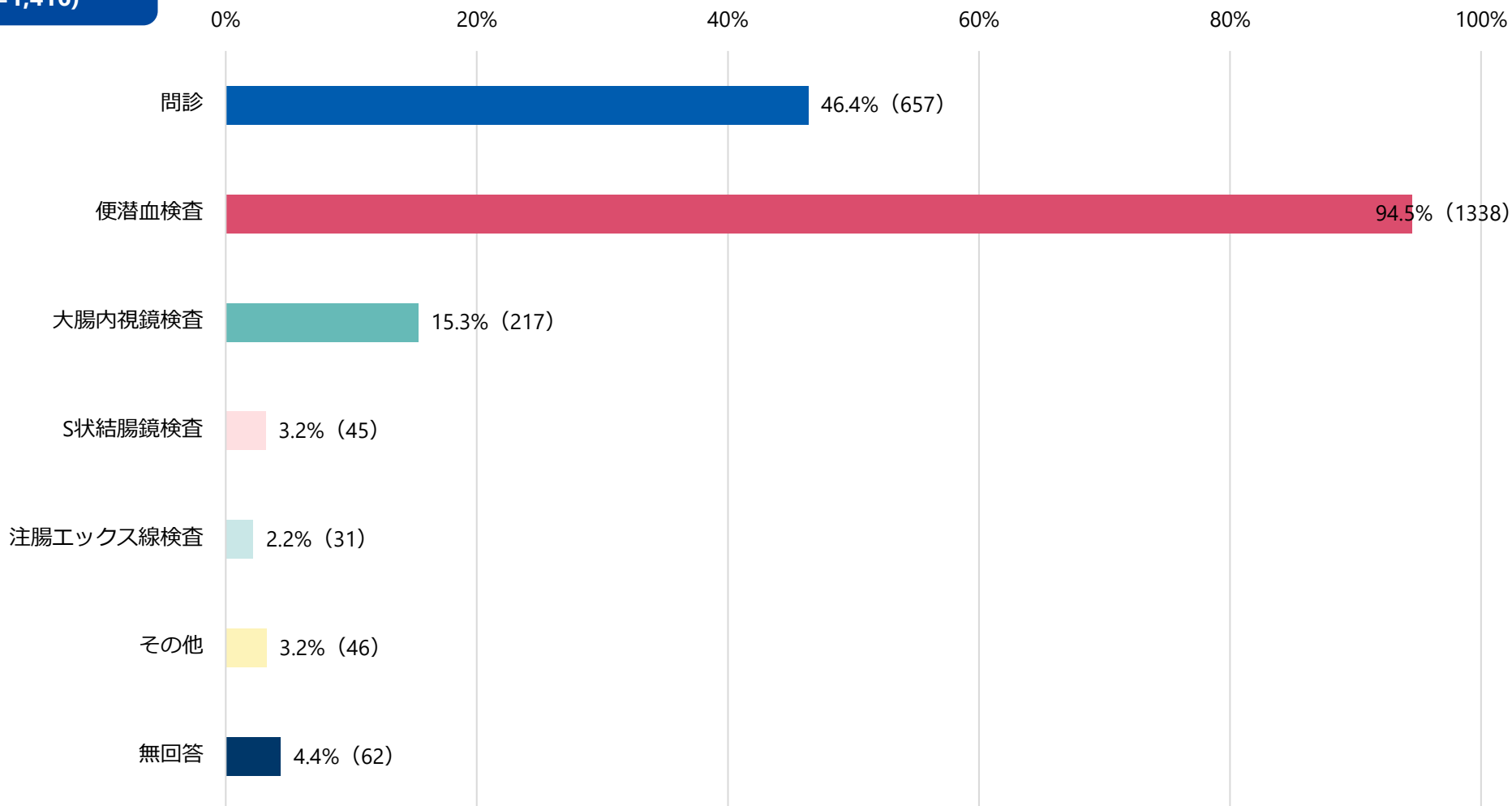


※複数回答可

がん検診の検査実施方法（大腸がん）

全被用者保険者

(n=1,416)



※複数回答可

がん検診の実施範囲（全被用者保険者）

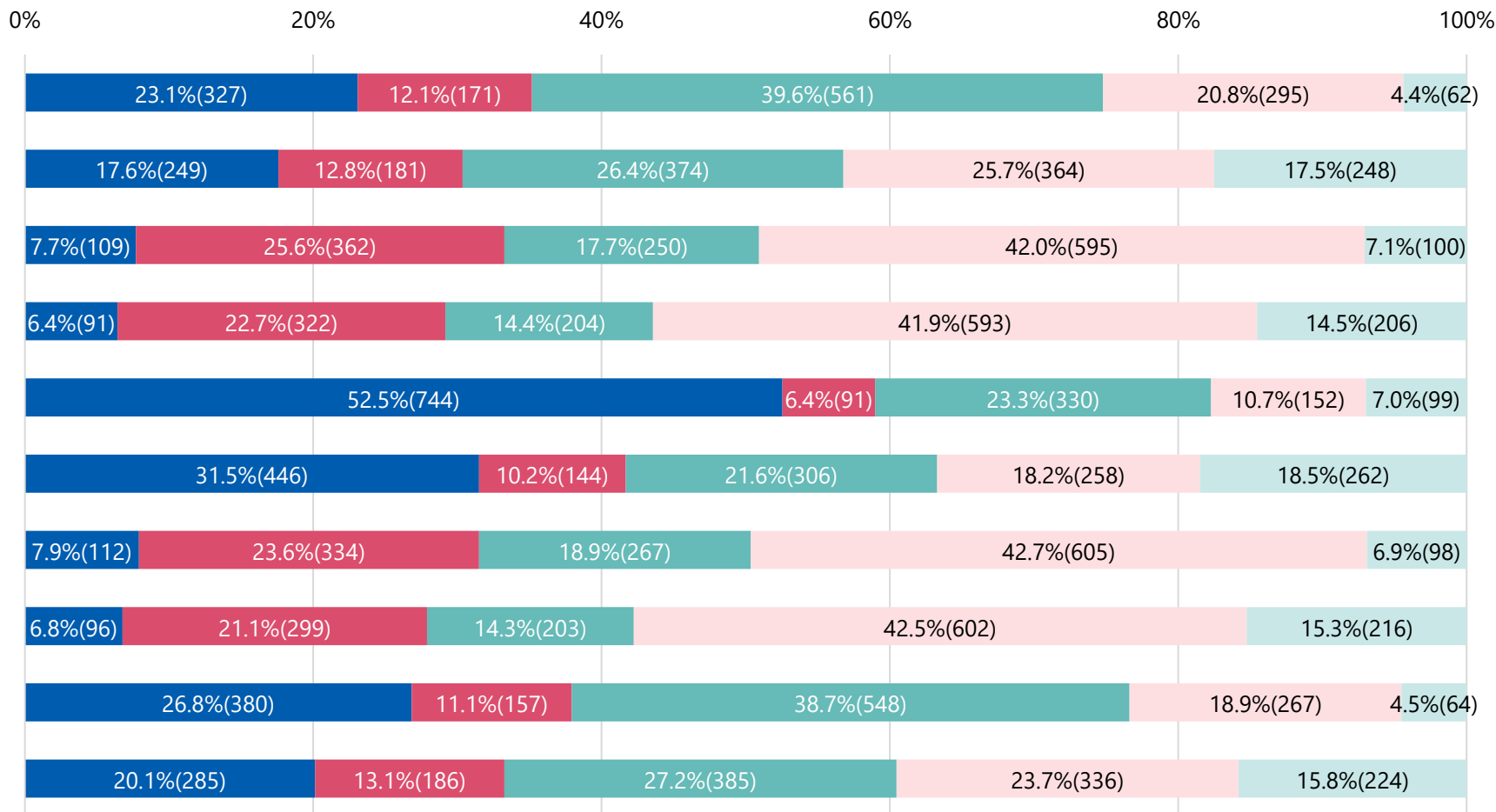
全被用者保険者

(n=1,416)

- がん検診ごとに傾向に違いがあり、特に肺がん検診については基本項目として加入者全員に実施されることが多い
- 子宮頸がん・乳がんにおいては、年齢・性別等の一定条件でオプションとして希望者に対して実施されることが多い

■ 基本項目として加入者全員に対して実施
■ 年齢・性別等の一定条件で加入者全員に対して実施
■ 無回答

■ オプションとして希望者に対して実施
■ 年齢・性別等の一定条件でオプションとして希望者に対して実施

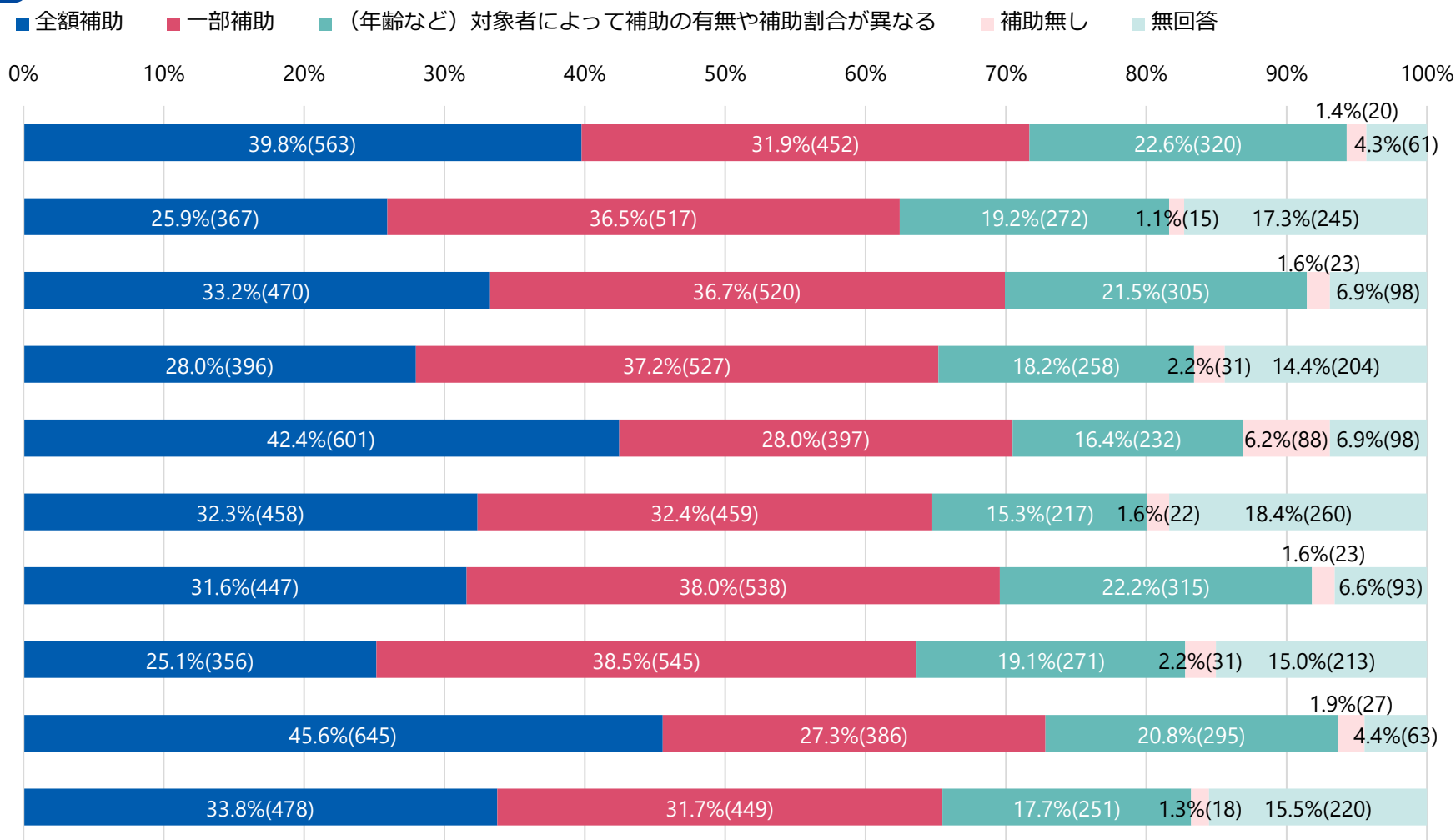


がん検診の費用負担にかかる保険者の補助（全被用者保険者）

全被用者保険者

(n=1,416)

- いずれのがん検診においても、一律で「全額補助」あるいは「一部補助」を実施している保険者が多い
- 他方で、対象者によって補助の有無や補助割合が変動する保険者も一定数存在する



（補足）がん検診の対象者・受診者数の集計定義について

※本設問における回答方法の定義は以下の通り

※保険者が把握している「対象者数」及び「受診者数」の全数をそれぞれご記載ください。

そのうえで、「被保険者（組合員）」と「被扶養者」で分けることができる場合には、内訳も記載してください。

※受診者数については、Q8g-4における実施方法やQ8g-5における費用補助の回答に関わらず、保険者または事業主で実施・補助しているがん検診の受診者を含みます。

※実施・把握していない場合は空欄とし、該当者がいない場合は「0」と記載してください。

※本設問において、対象者数および受診者数は下記「がん検診の対象者・受診者の集計定義」に基づき集計してください。

※対象者の年齢基準は調査年度末の年齢としてください。また年度途中に加入・喪失した者は集計対象外としてください。

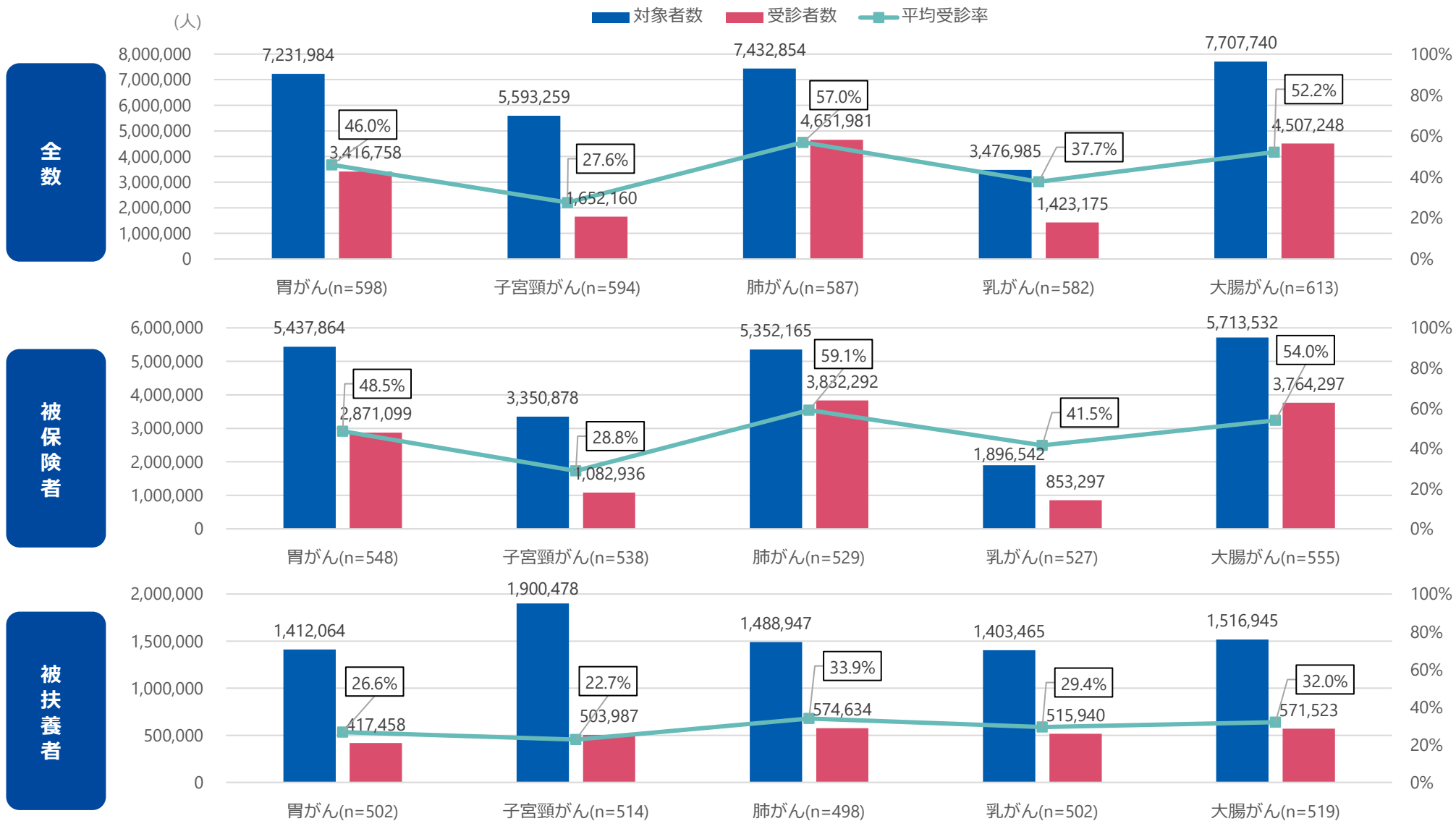
※胃がん、子宮頸がん、乳がんについては調査年度及びその前年度の2年度にわたり、加入していた者を集計対象としてください。

※集計する受診者数について検査項目は問いません。ただし、延べ人数ではなく実人数で集計することとしてください。

がん検診の対象者・受診者の集計定義		
種類	対象者（分母）	受診者（分子）
胃がん検診	<u>41歳以上の者</u>	対象者のうち、調査年度（2024年度）およびその前年度（2023年度）に1度でも実施した者
子宮頸がん検診	<u>21歳以上の女性</u>	対象者のうち、調査年度（2024年度）およびその前年度（2023年度）に1度でも実施した者
肺がん検診	40歳以上の者	対象者のうち、調査年度（2024年度）に実施した者
乳がん検診	<u>41歳以上の女性</u>	対象者のうち、調査年度（2024年度）およびその前年度（2023年度）に1度でも実施した者
大腸がん検診	40歳以上の者	対象者のうち、調査年度（2024年度）に実施した者

がん検診の対象者・受診者数

※ 健保組合・共済組合

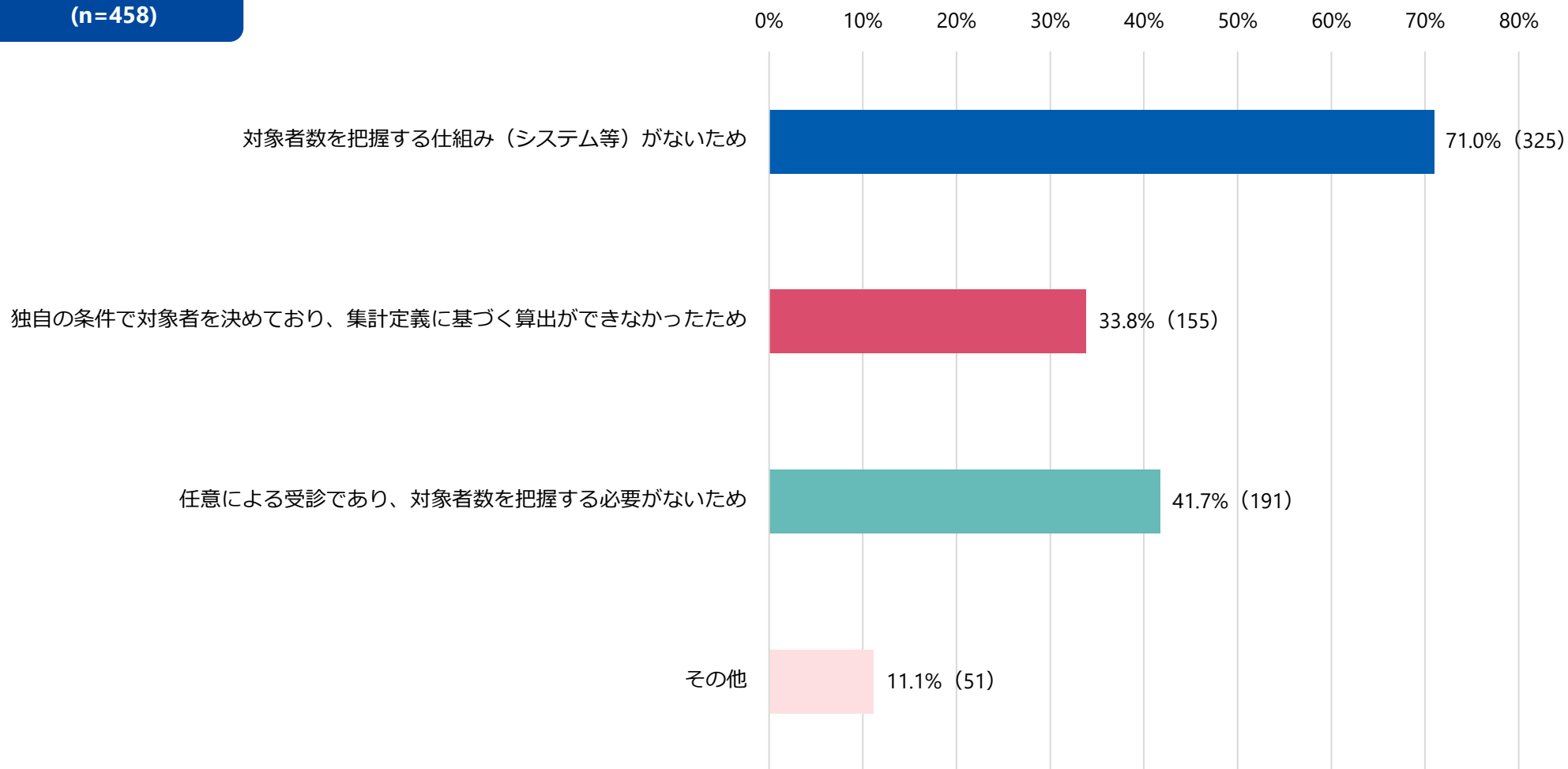


- ・ がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数・受診者数いずれも回答している保険者のみを集計対象とする。
- ・ がん種別ごとに定義と異なる方法で集計した（と備考欄で申告している）保険者は除外。また、がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数がゼロの保険者は除外。

がん検診を実施しているが対象者数を記載できない理由※回答があった保険者のみ

全被用者保険者

(n=458)



※複数回答可

※対象者数を記載できないがん種がある保険者のうち本問に回答した保険者が集計対象

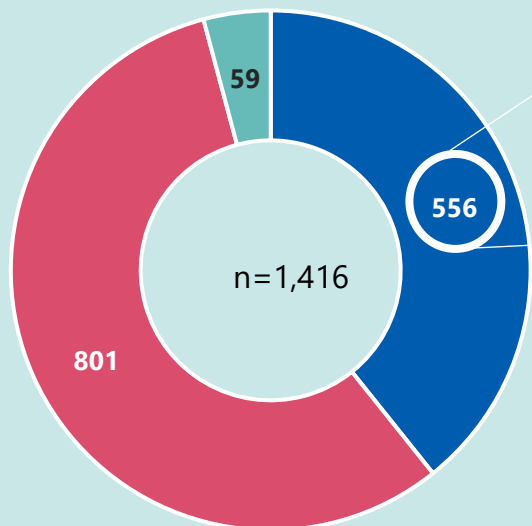
がん検診の要精密検査の対象者把握と受診勧奨の状況（全被用者保険者）

全被用者保険者
(n=1,416)

- 要精密検査対象者を把握している保険者は約4割であり、そのうち約8割が対象者に受診勧奨を実施
- 受診勧奨を行う保険者のうち8割以上はその後の受診状況を確認しており、レセプトや本人からの情報提供による確認が多い

要精密検査対象者の把握

※いずれかのがん検診の種類でひとつでも実施している保険者のみが回答対象（実施主体は問わない）

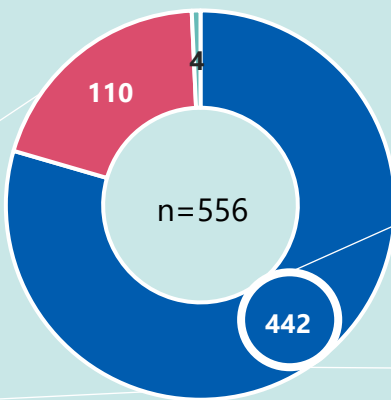


■ 把握している ■ 把握していない ■ 無回答

（グラフ内の数値は保険者数）

要精密検査対象者への受診勧奨

※要精密検査対象者を把握していると回答した保険者が回答対象

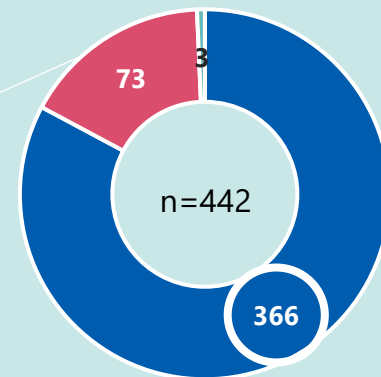


■ 実施している ■ 実施していない ■ 無回答

（グラフ内の数値は保険者数）

受診勧奨後の受診状況の確認

※要精密検査対象者への受診勧奨を実施していると回答した保険者が回答対象

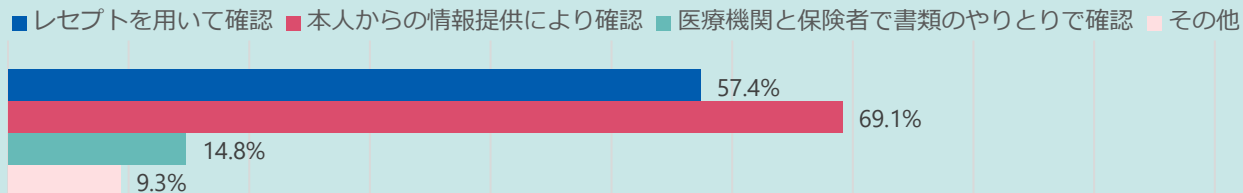


■ 確認している ■ 確認していない ■ 無回答

（グラフ内の数値は保険者数）

受診状況の確認方法

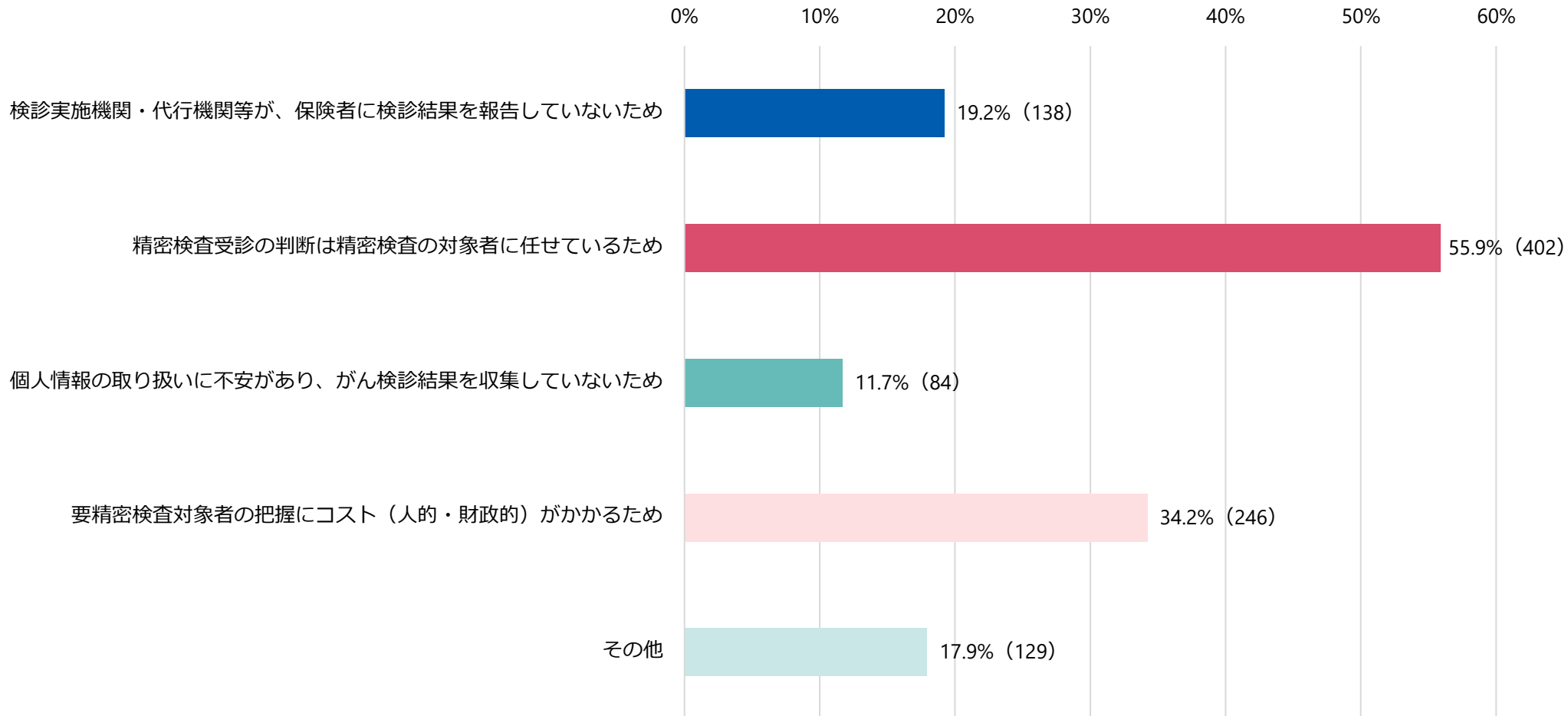
※受診勧奨後の受診状況を確認していると回答した者のみが回答対象
n=366（複数回答可）



要精密検査となった者を把握していない理由 ※回答のあった保険者のみ

全被用者保険者

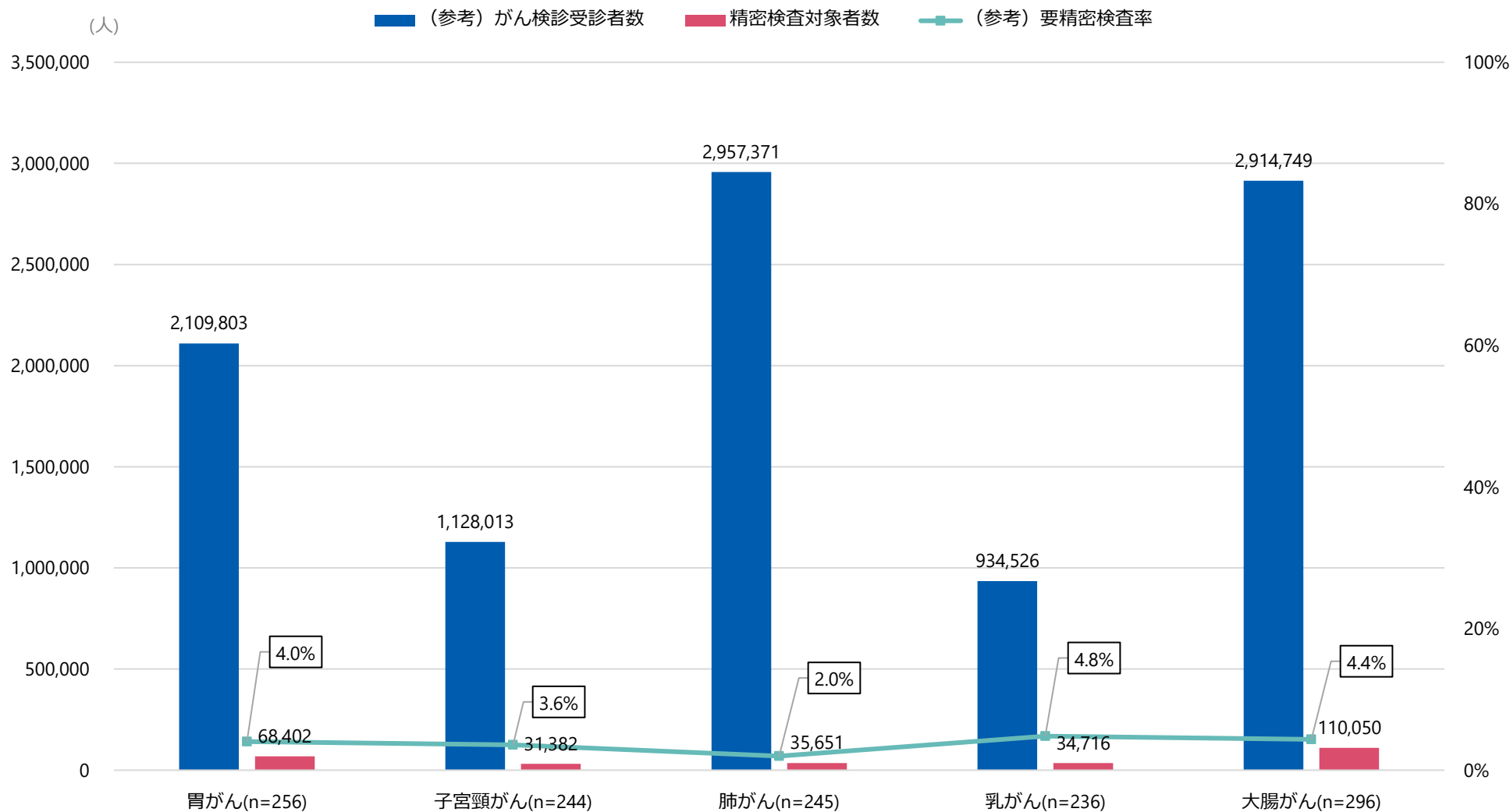
(n=719)



※複数回答可

がん検診の要精密検査対象者数

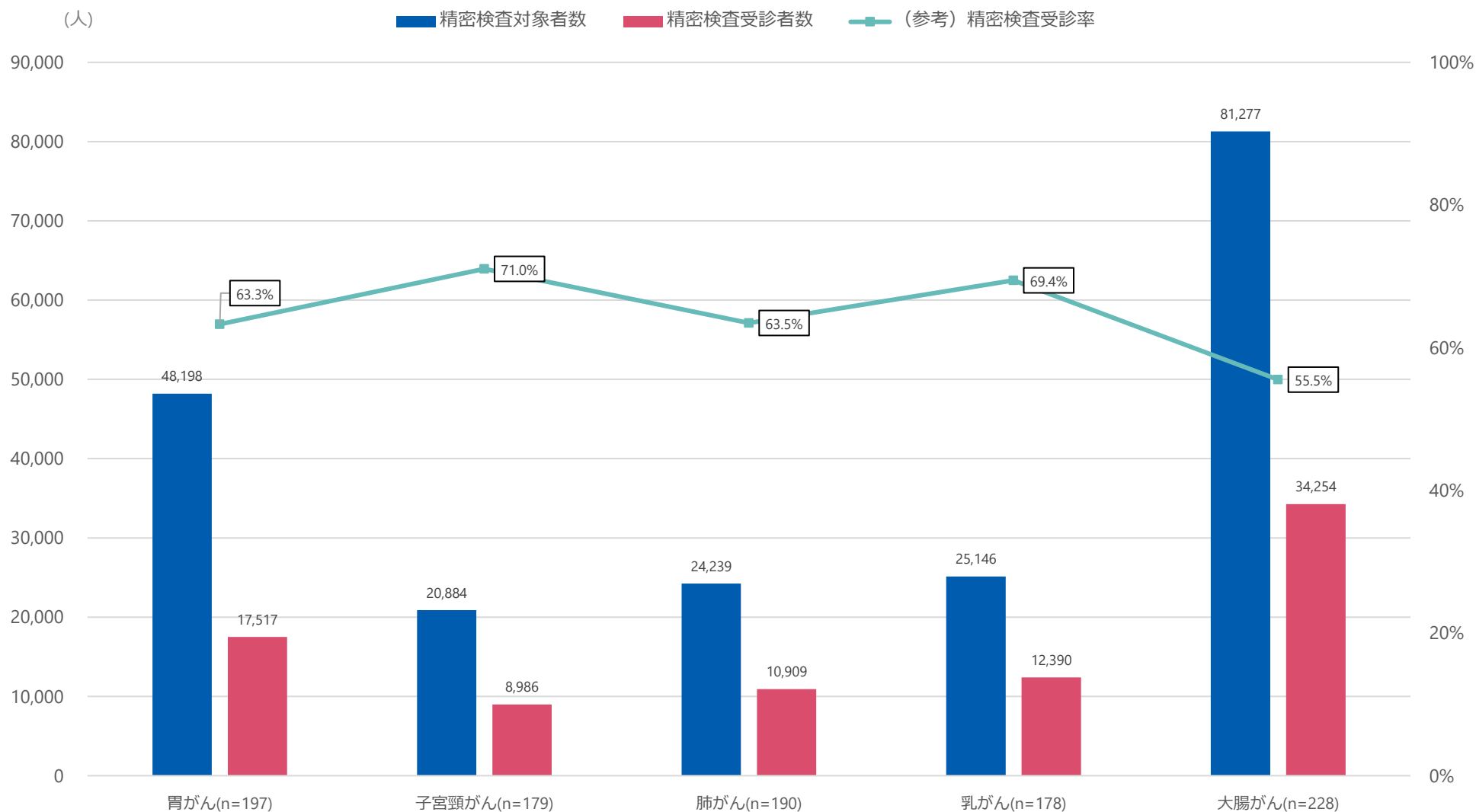
※ 健保組合・共済組合



- がん検診の結果から要精密検査となった者を把握している保険者のうち、がん種別ごとに対象者数・受診者数・精密検査対象者数いずれも記載している保険者のみを集計対象とする。
- 要精密検査率は、集計対象の保険者およびそのがん種別ごとにおいて、精密検査対象者数をがん検診受診者数で除した値の単純平均。なお、100%を上回った保険者は除外。

がん検診の精密検査受診者数

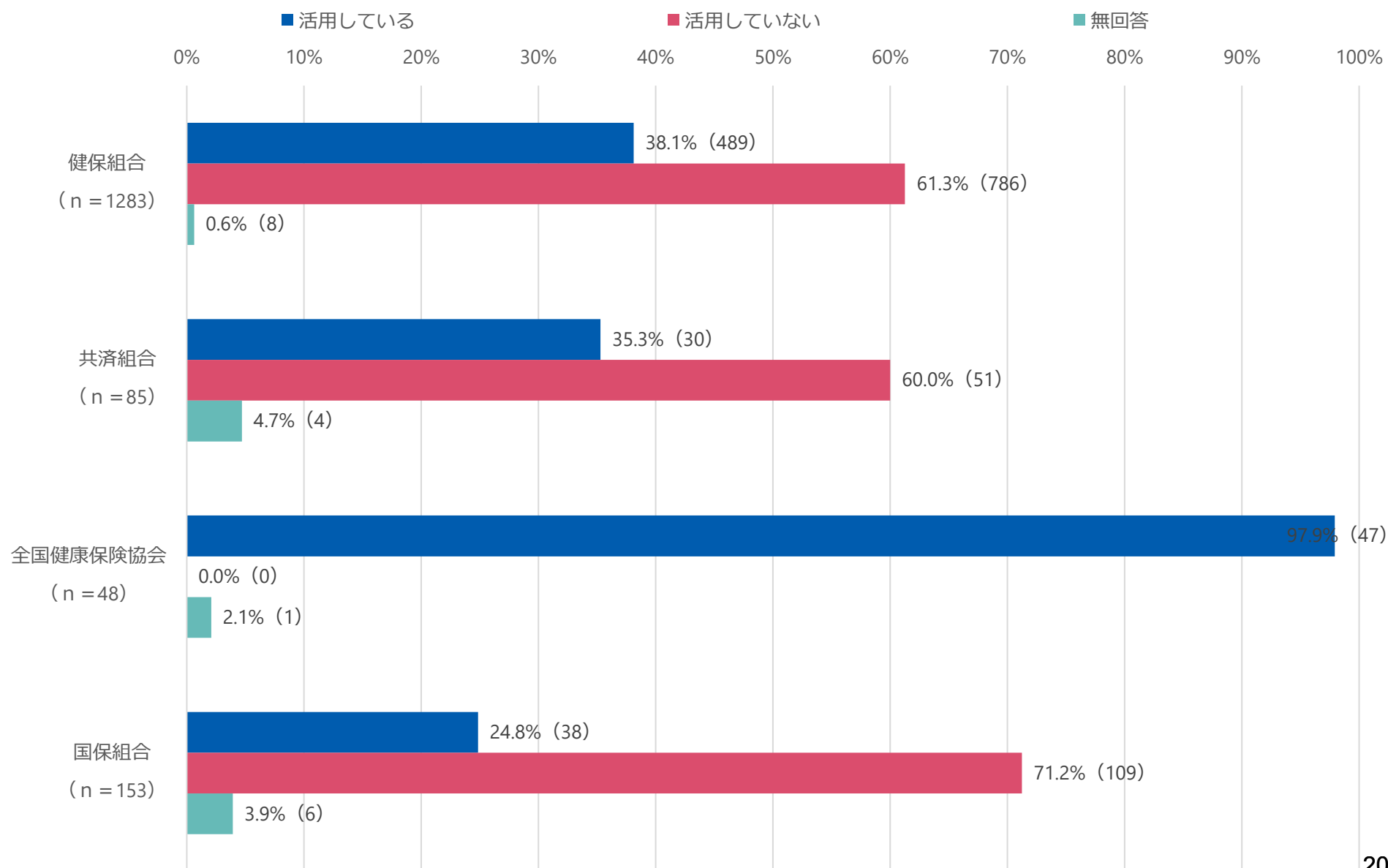
※ 健保組合・共済組合



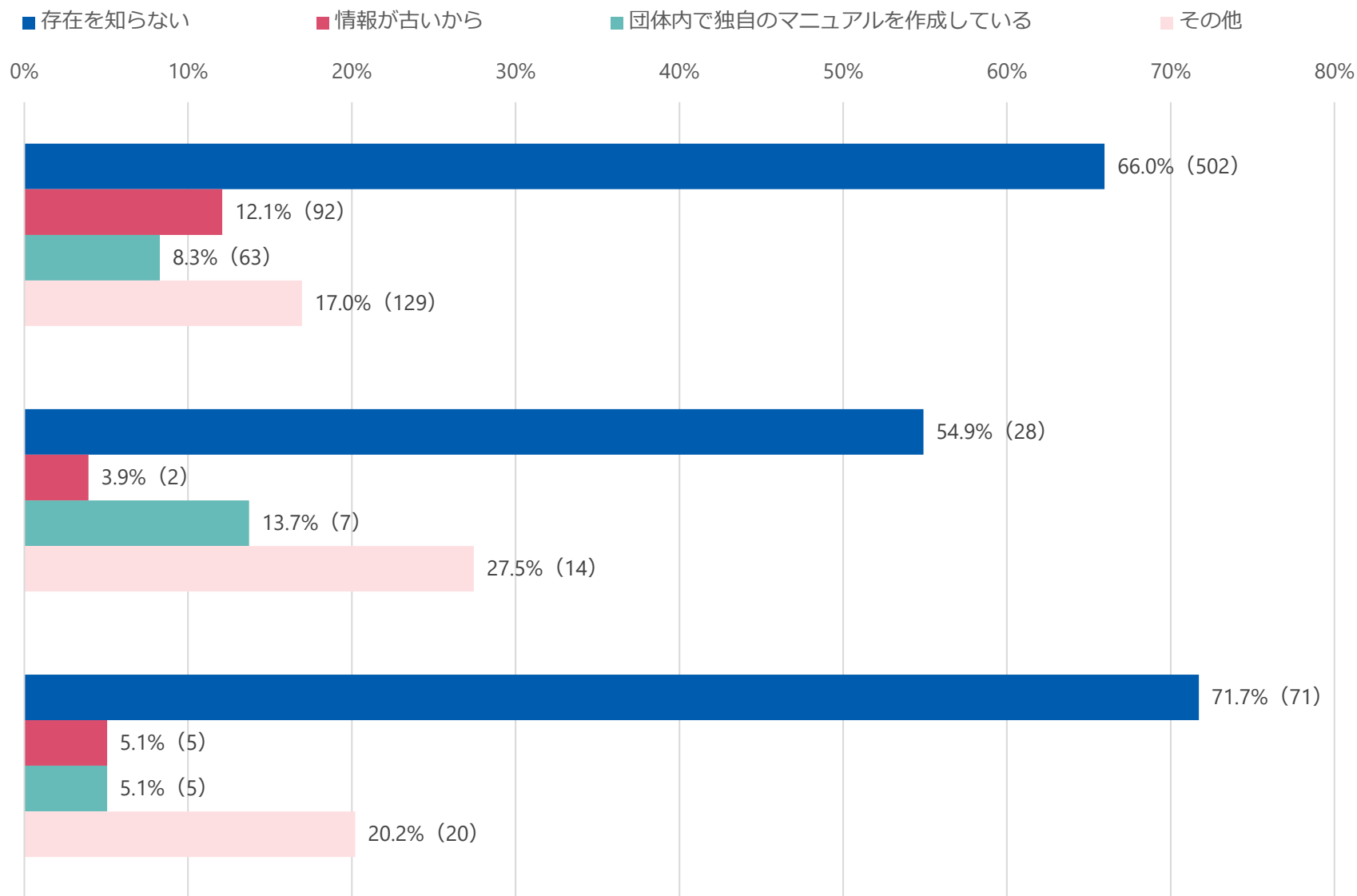
- がん検診の結果から要精密検査となった者の受診状況を確認している保険者のうち、がん種別ごとに対象者数・受診者数・精密検査対象者数・精密検査受診者数いずれも記載している保険者のみを集計対象とする。
- 精密検査受診率は、集計対象の保険者およびそのがん種別ごとにおいて、精密検査受診者数を精密検査対象者数で除した値の単純平均。なお、100%を上回った保険者は除外。

参考資料

「職域におけるがん検診に関するマニュアル」の活用状況 (保険者種別内訳)



「職域におけるがん検診に関するマニュアル」を活用していない理由 (保険者種別内訳)



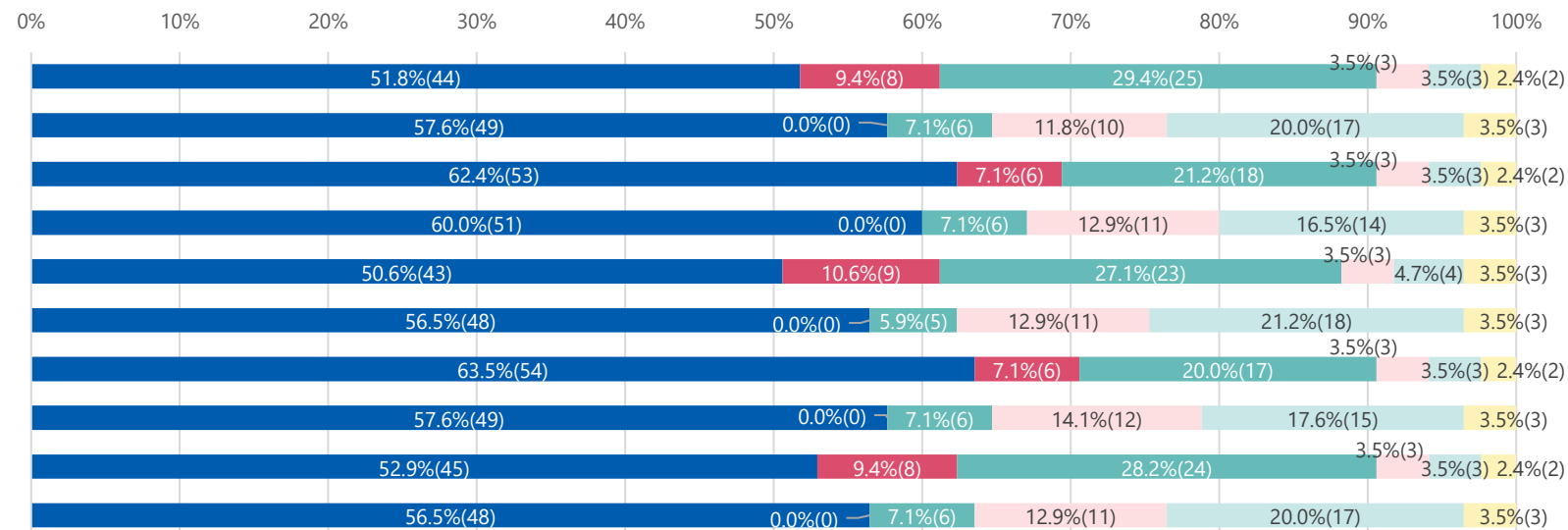
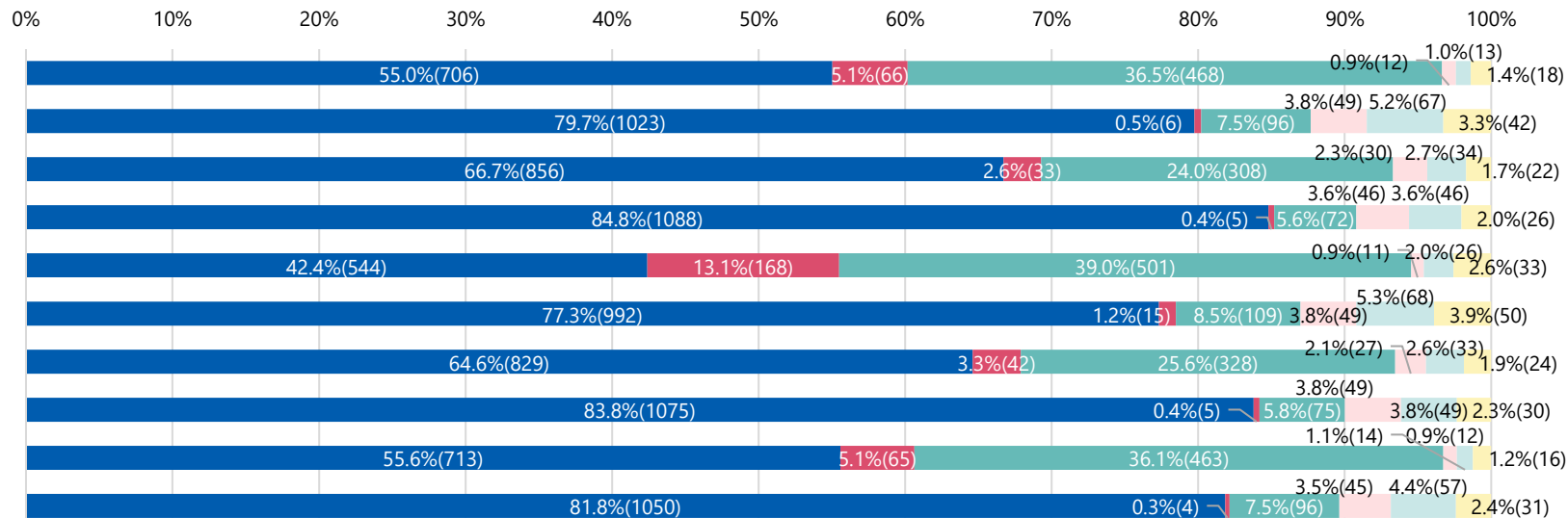
※複数回答可

※「職域におけるがん検診に関するマニュアル」を活用していないと回答した保険者のみが回答対象（実施主体は問わない）

（参考）

がん検診の実施状況（保険者種別内訳）

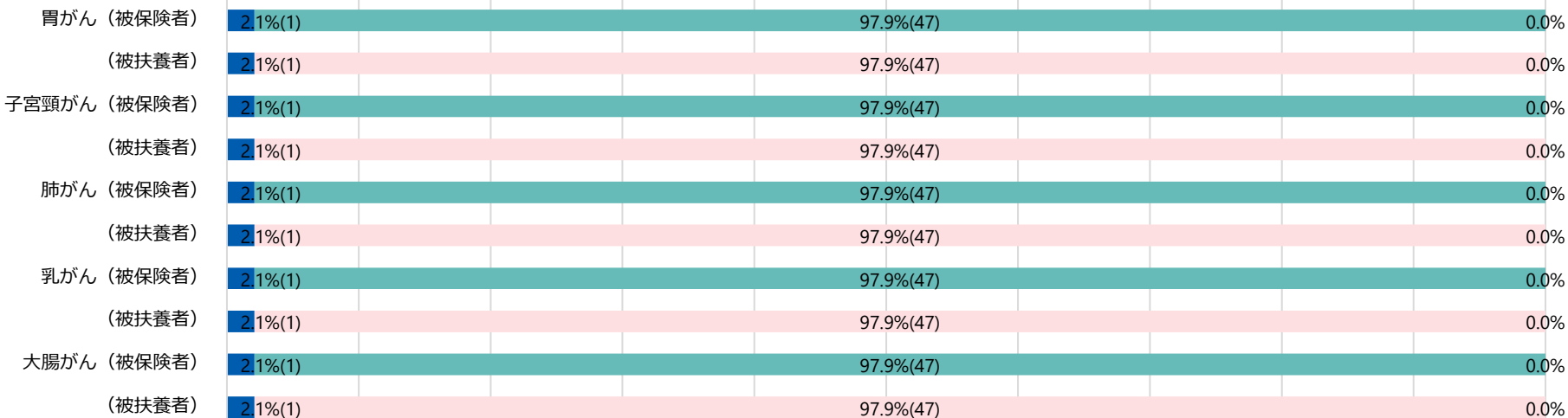
■ 保険者が単独で実施 ■ 事業主が単独で実施 ■ 保険者と事業主が共同で実施 ■ 未実施・自治体検診への受診勧奨実施 ■ 未実施・自治体検診への受診勧奨も未実施 ■ 無回答



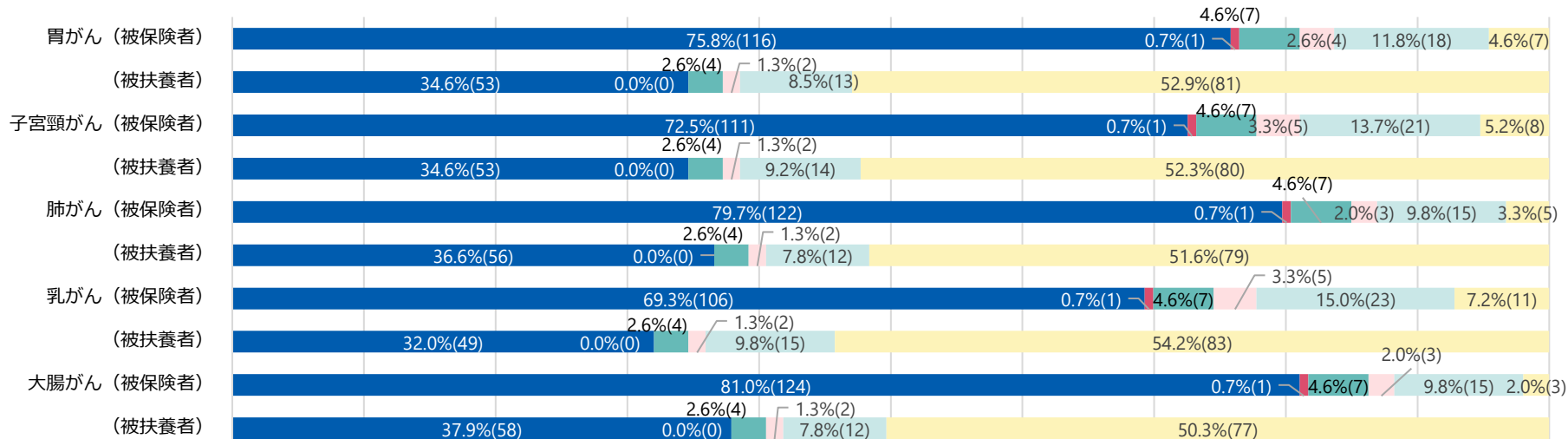
がん検診の実施状況（保険者種別内訳）

■ 保険者が単独で実施 ■ 事業主が単独で実施 ■ 保険者と事業主が共同で実施 ■ 未実施・自治体検診への受診勧奨実施 ■ 未実施・自治体検診への受診勧奨も未実施 ■ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



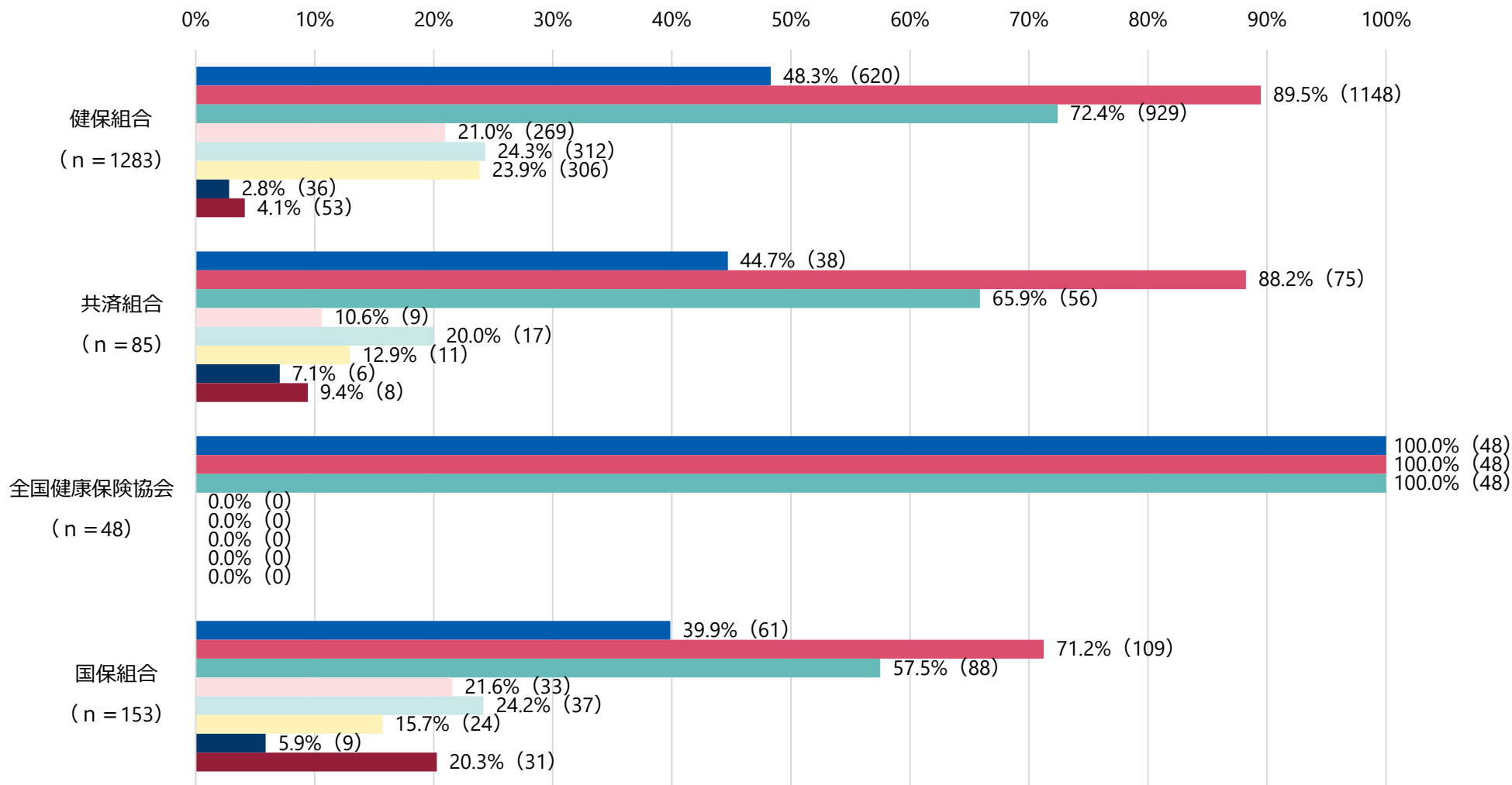
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



（グラフ内の数値は保険者数）

がん検診の検査実施方法（胃がん）（保険者種別内訳）

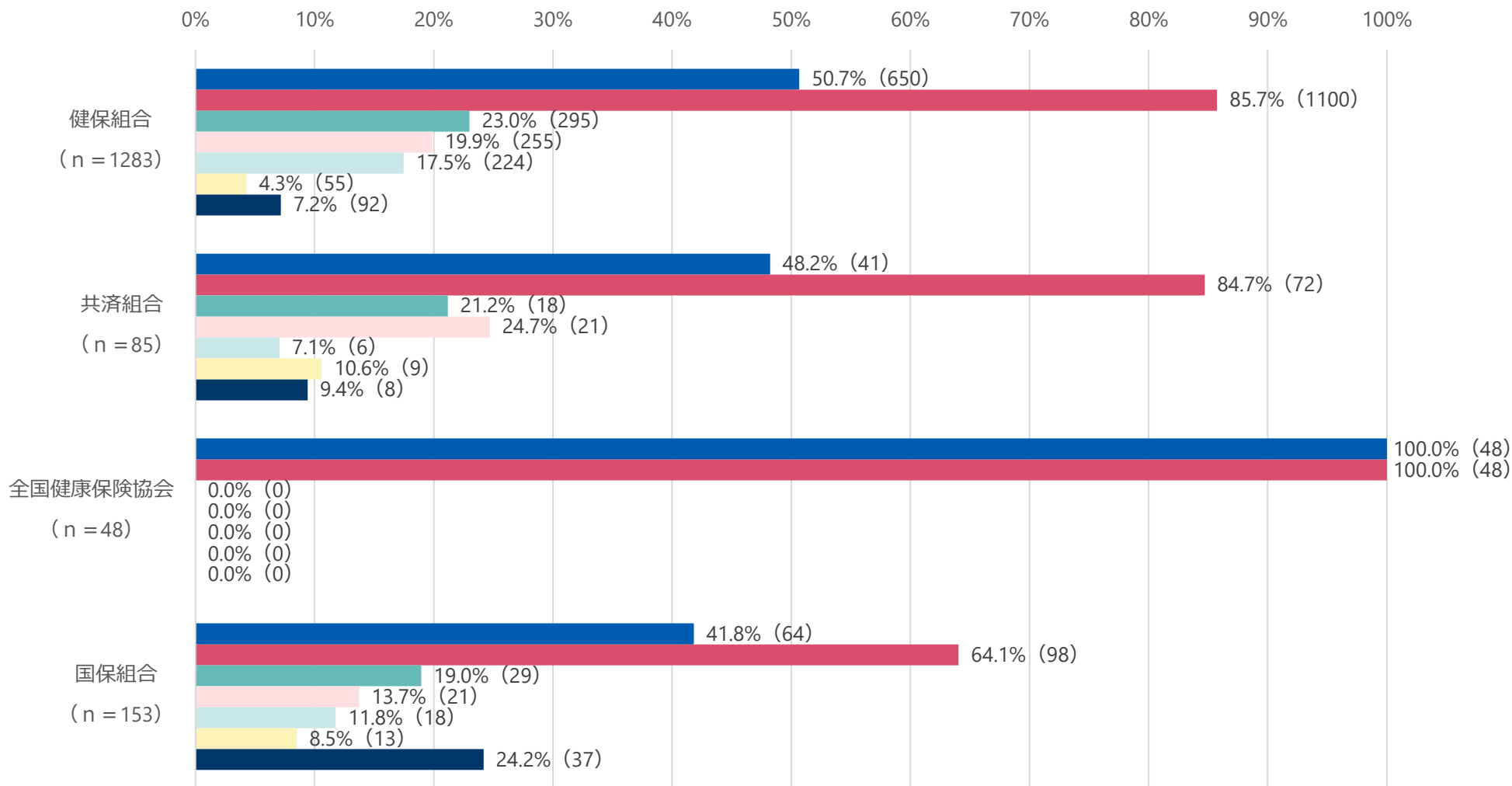
■ 問診 ■ 胃部エックス線検査（バリウム） ■ 胃内視鏡検査 ■ ペプシノゲン検査 ■ ヘリコバクターピロリ菌抗体検査 ■ リスク検診（ABC検診） ■ その他 ■ 無回答



※複数回答可

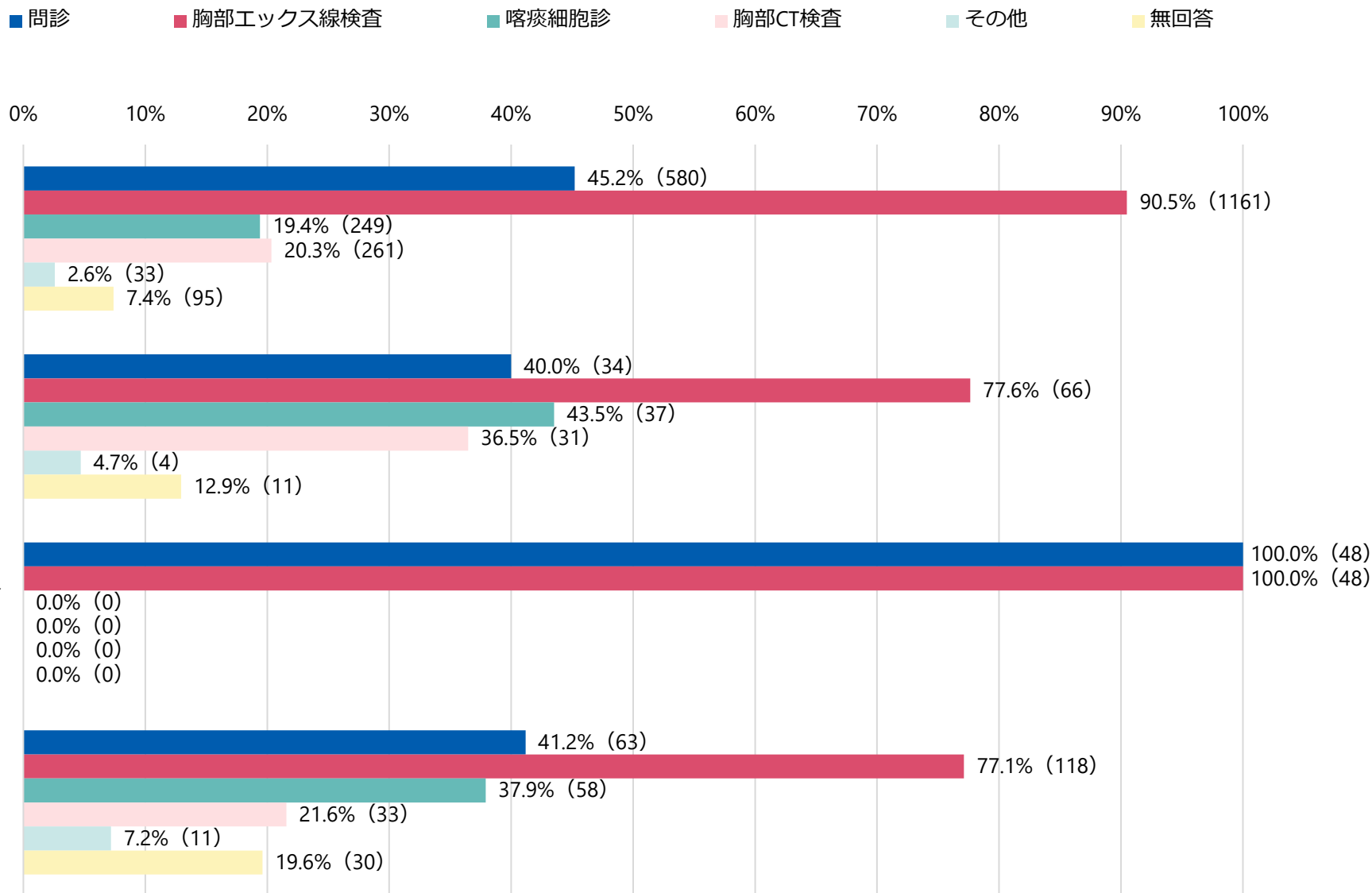
がん検診の検査実施方法（子宮頸がん）（保険者種別内訳）

■ 問診 ■ 細胞診（医師による採取） ■ 細胞診（自己採取） ■ H P V 検査（医師による採取） ■ H P V 検査（自己採取） ■ その他 ■ 無回答



※複数回答可

がん検診の検査実施方法（肺がん）（保険者種別内訳）

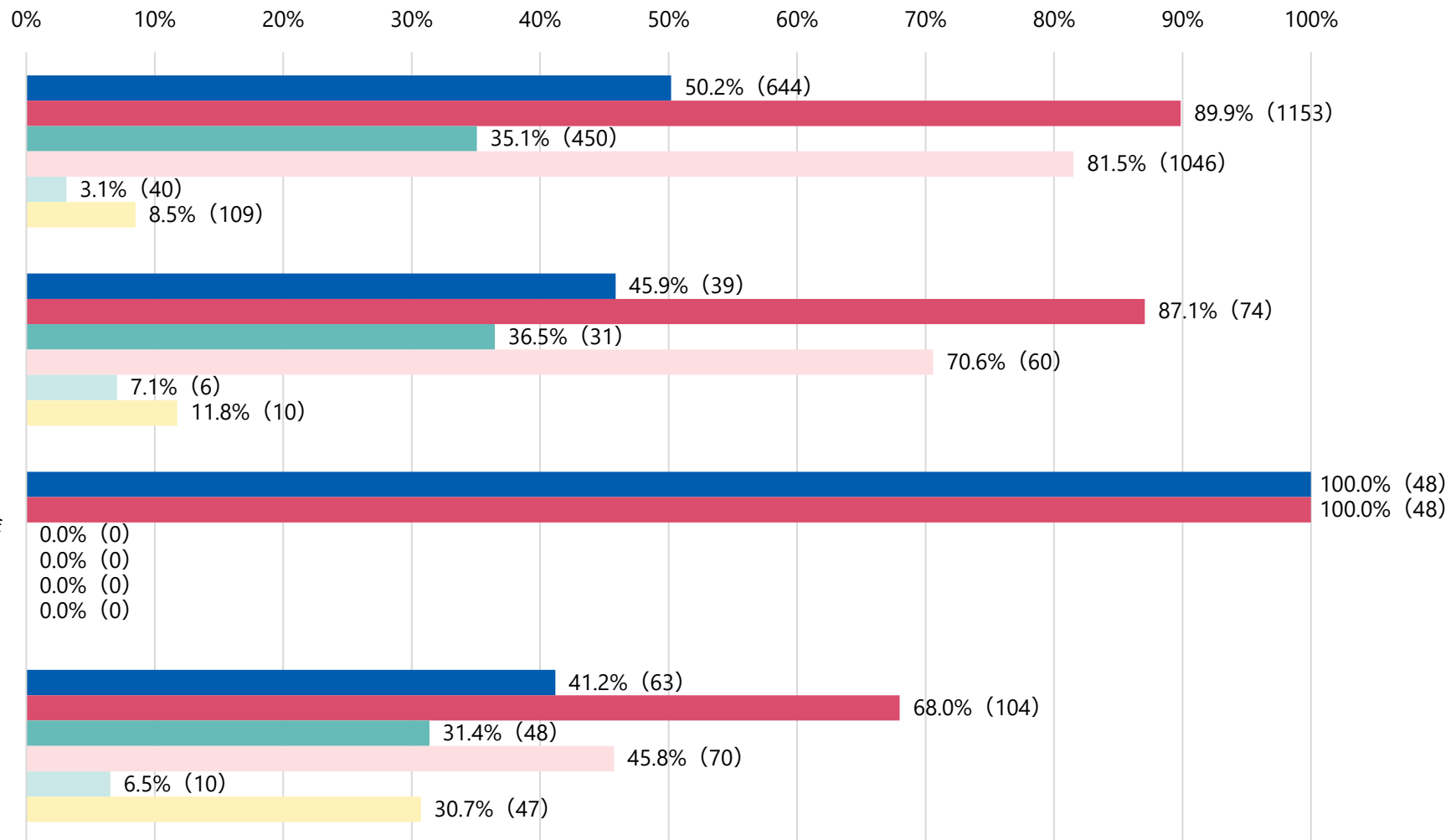


（参考）

※複数回答可

がん検診の検査実施方法（乳がん）（保険者種別内訳）

■ 問診 ■ 乳房エックス線検査（マンモグラフィ） ■ 視触診 ■ 乳房超音波検査（エコー） ■ その他 ■ 無回答

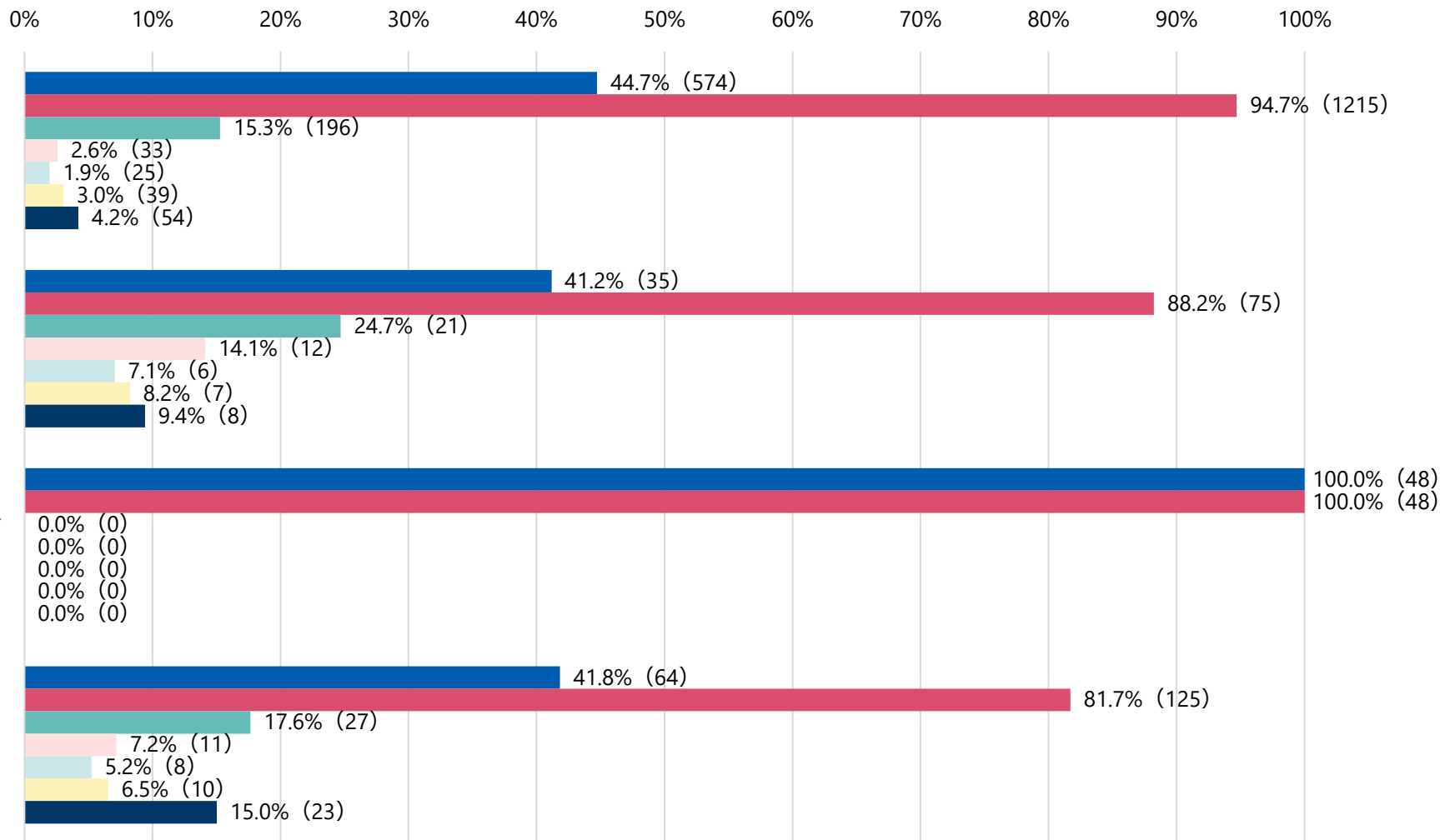


（参考）

※複数回答可

がん検診の検査実施方法（大腸がん）（保険者種別内訳）

■ 問診 ■ 便潜血検査 ■ 大腸内視鏡検査 ■ S状結腸鏡検査 ■ 注腸エックス線検査 ■ その他 ■ 無回答



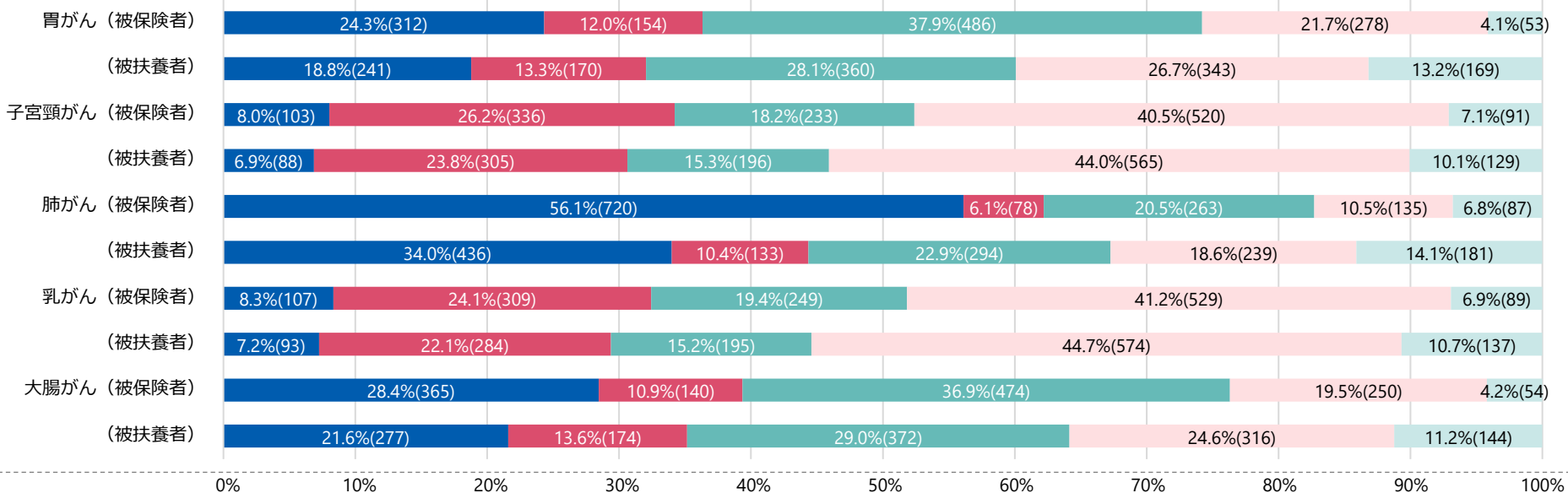
（参考）

※複数回答可

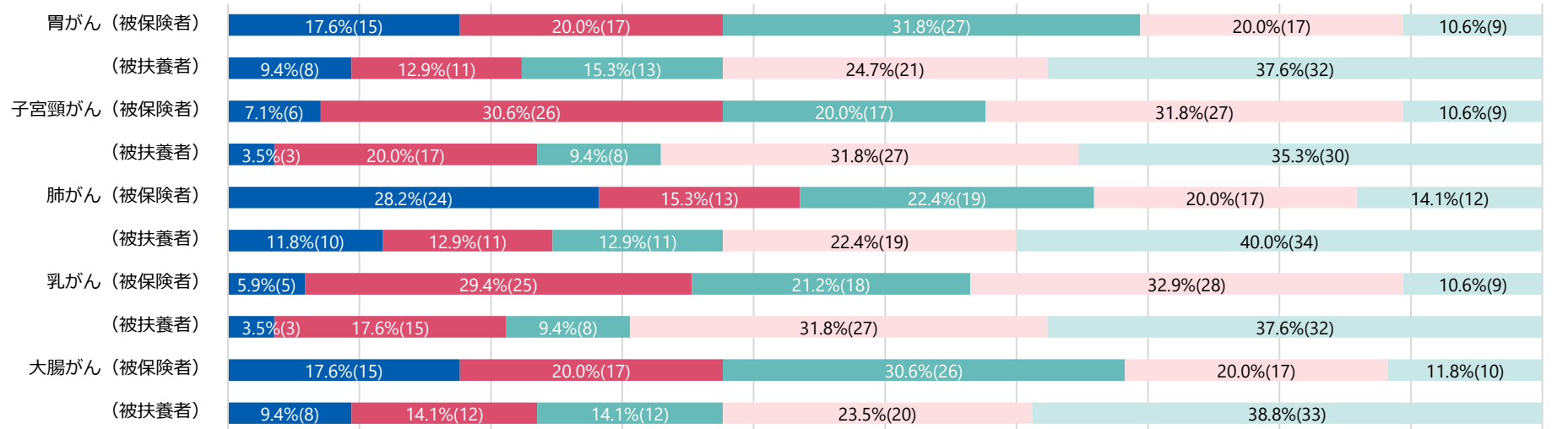
がん検診の実施範囲（保険者種別内訳）

■ 基本項目として加入者全員に対して実施 ■ オプションとして希望者に対して実施 ■ 年齢・性別等の一定条件で加入者全員に対して実施 ■ 年齢・性別等の一定条件でオプションとして希望者に対して実施 ■ 無回答

健保組合
n=1283



共済組合
n=85



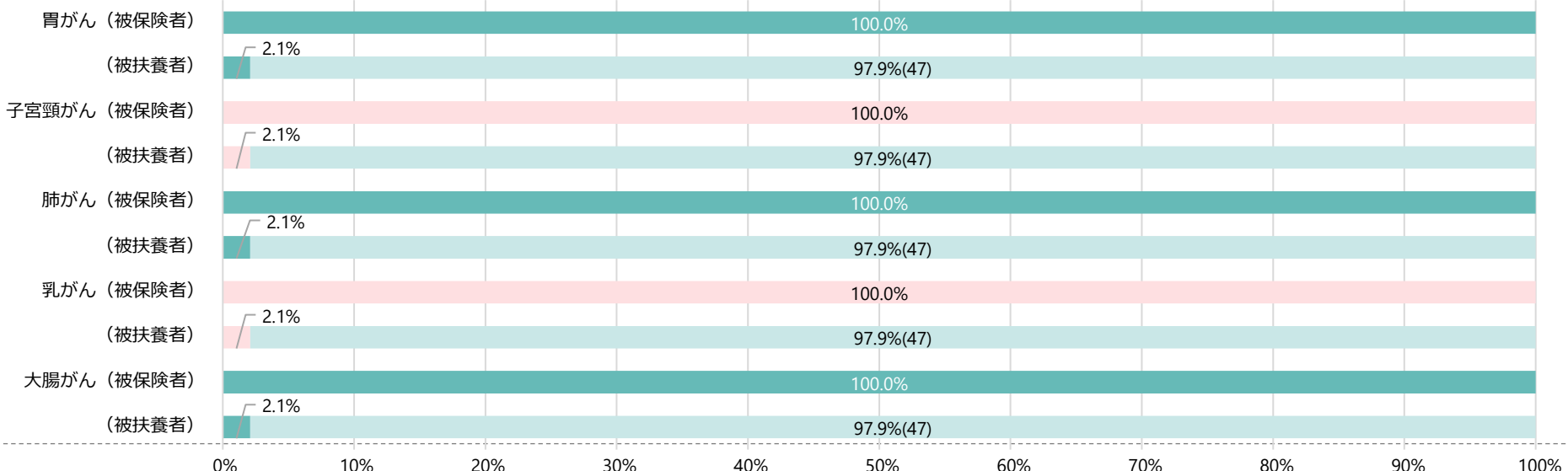
（グラフ内の数値は保険者数）

がん検診の実施範囲（保険者種別内訳）

■基本項目として加入者全員に対して実施 ■オプションとして希望者に対して実施 ■年齢・性別等の一定条件で加入者全員に対して実施 ■年齢・性別等の一定条件でオプションとして希望者に対して実施 ■無回答

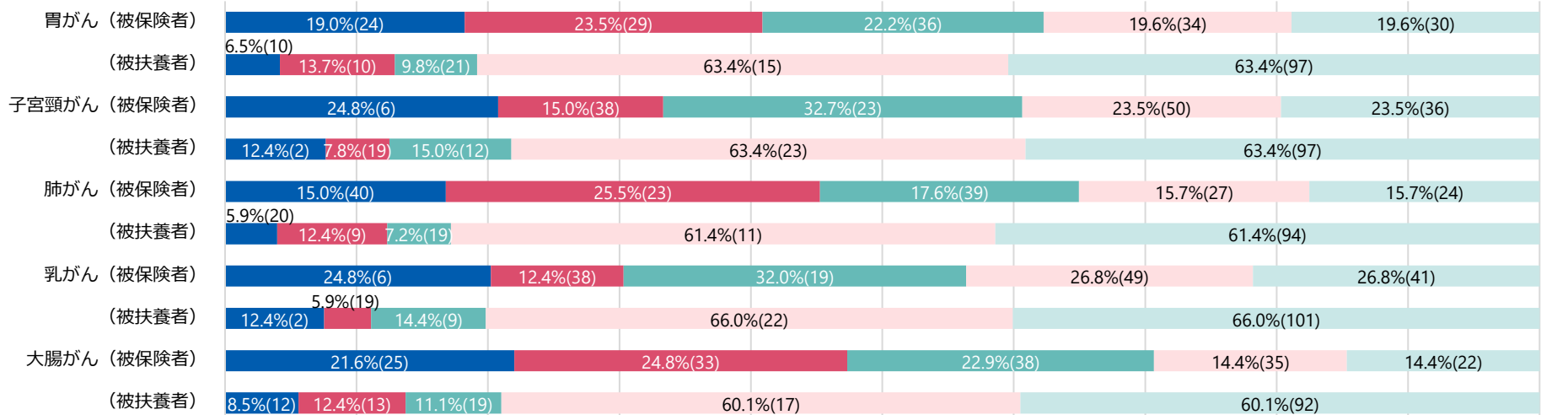
全国健康保険協会

n=48



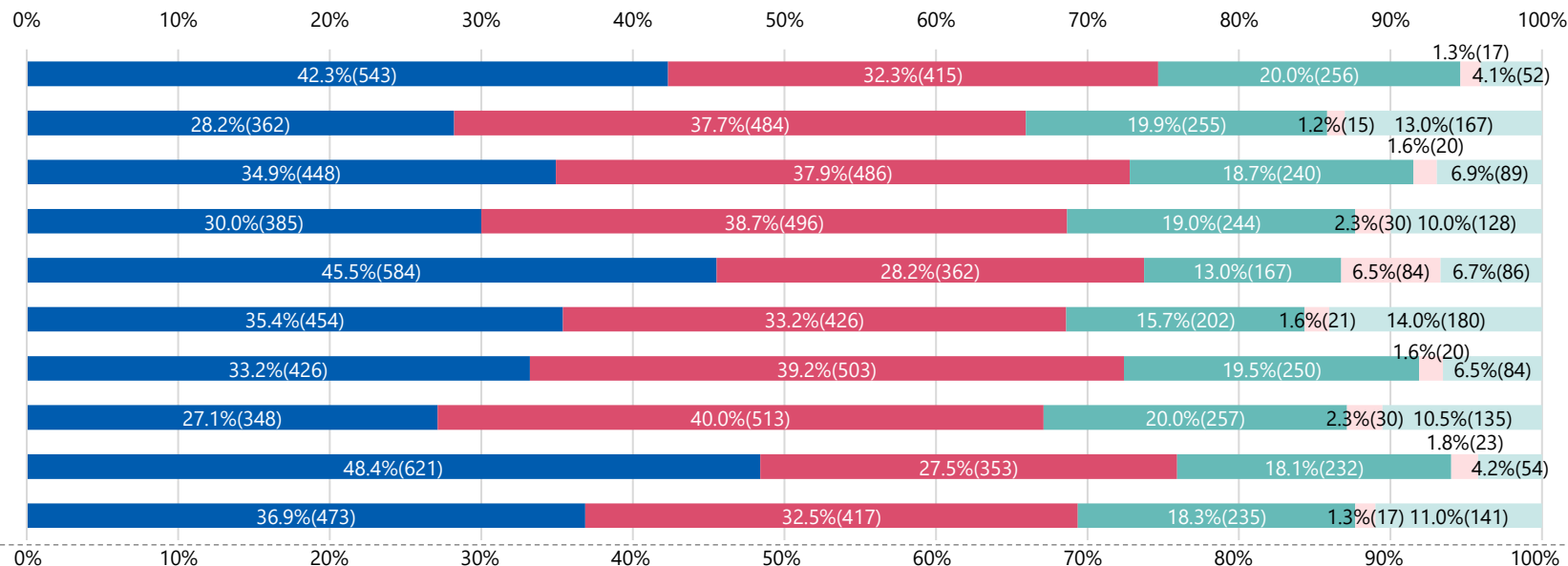
国保組合

n=153

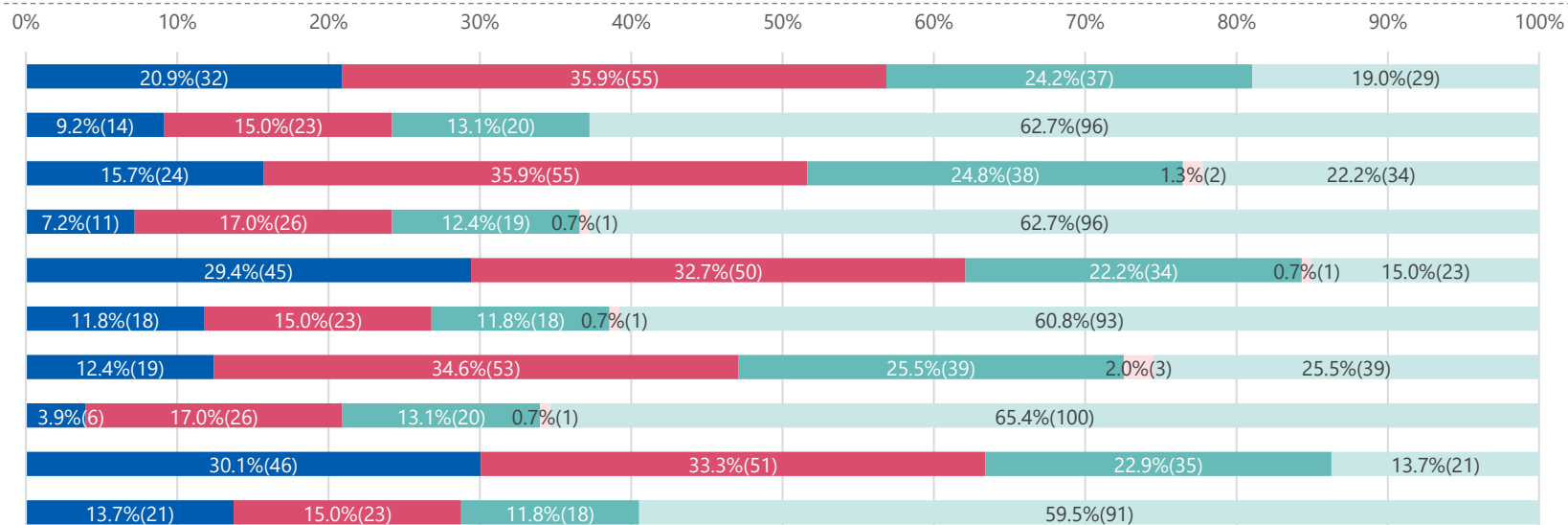
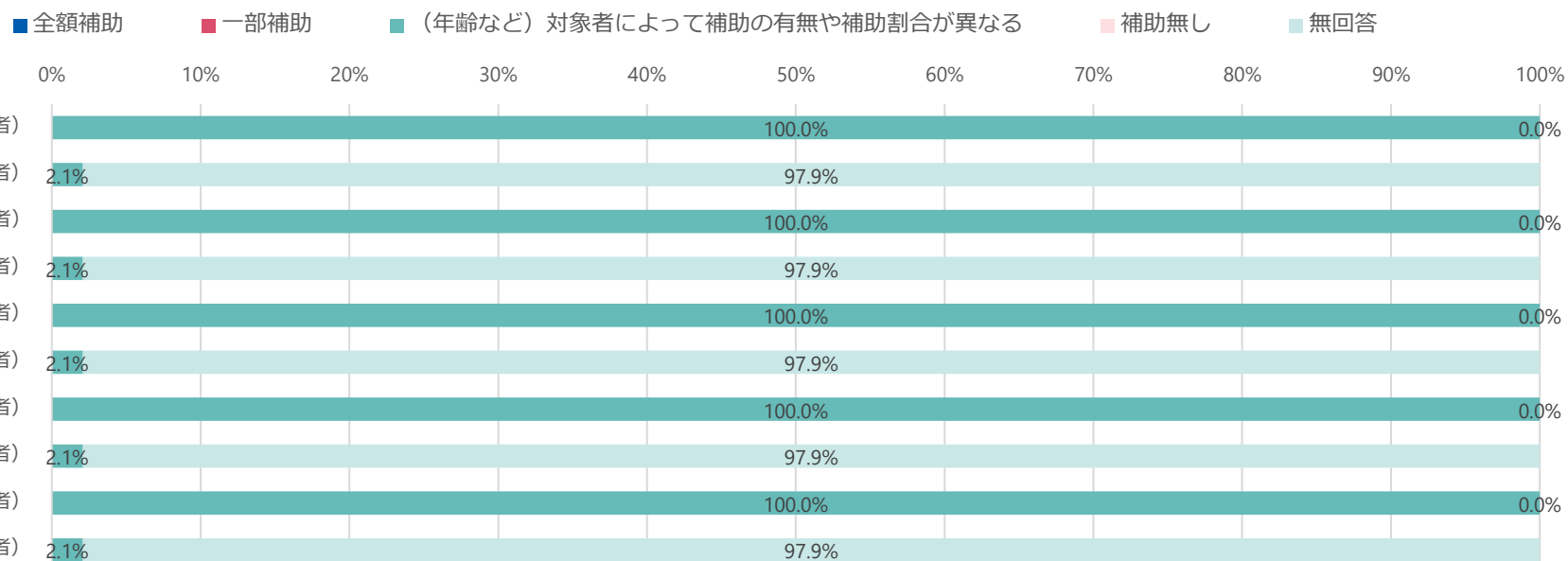


がん検診の費用負担にかかる保険者の補助（保険者種別内訳）

■ 全額補助 ■ 一部補助 ■ (年齢など) 対象者によって補助の有無や補助割合が異なる ■ 補助無し ■ 無回答



がん検診の費用負担にかかる保険者の補助（保険者種別内訳）



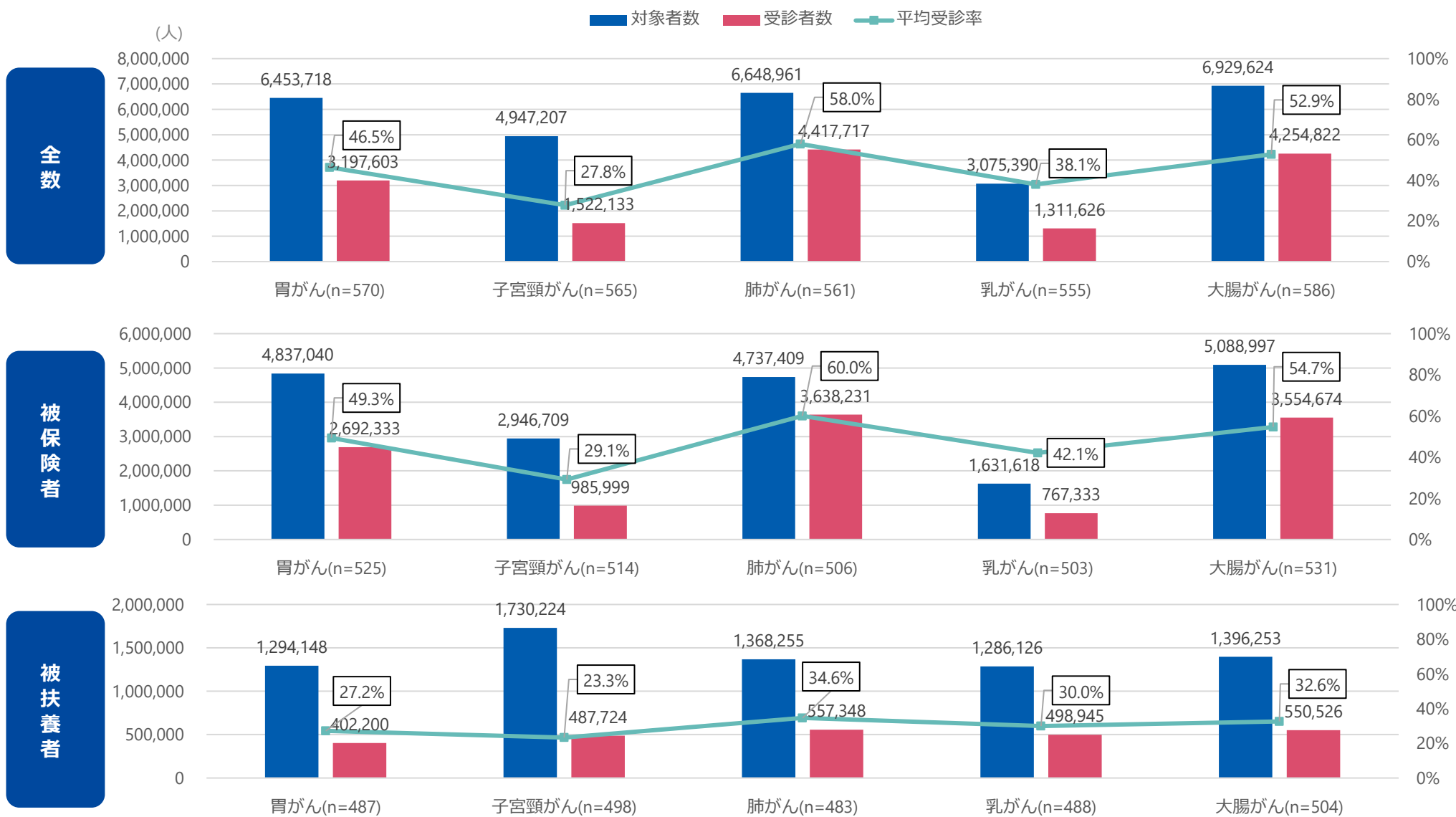
全国健康保険協会

n=48

国保組合

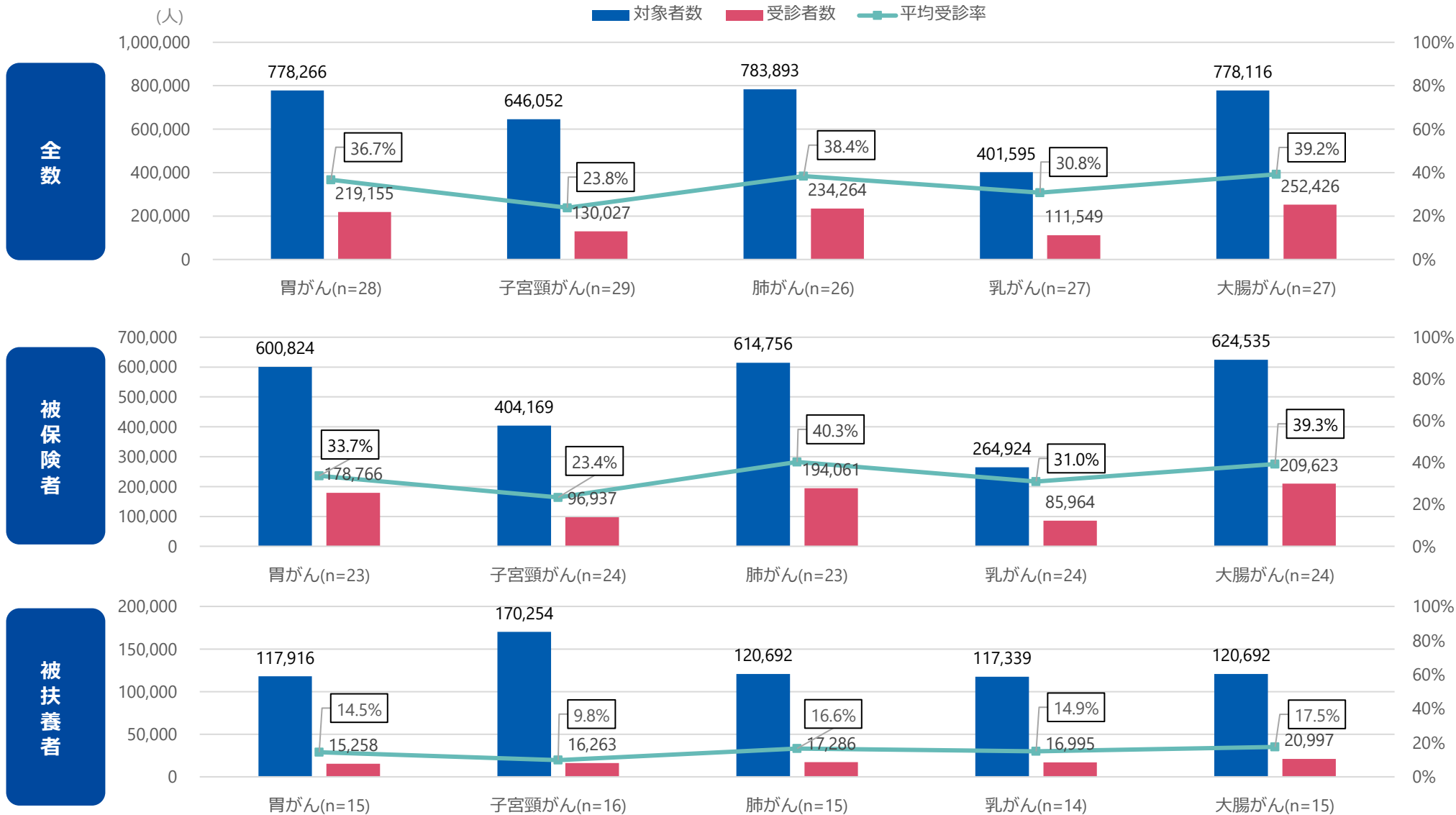
n=153

がん検診の対象者・受診者数（健保組合）



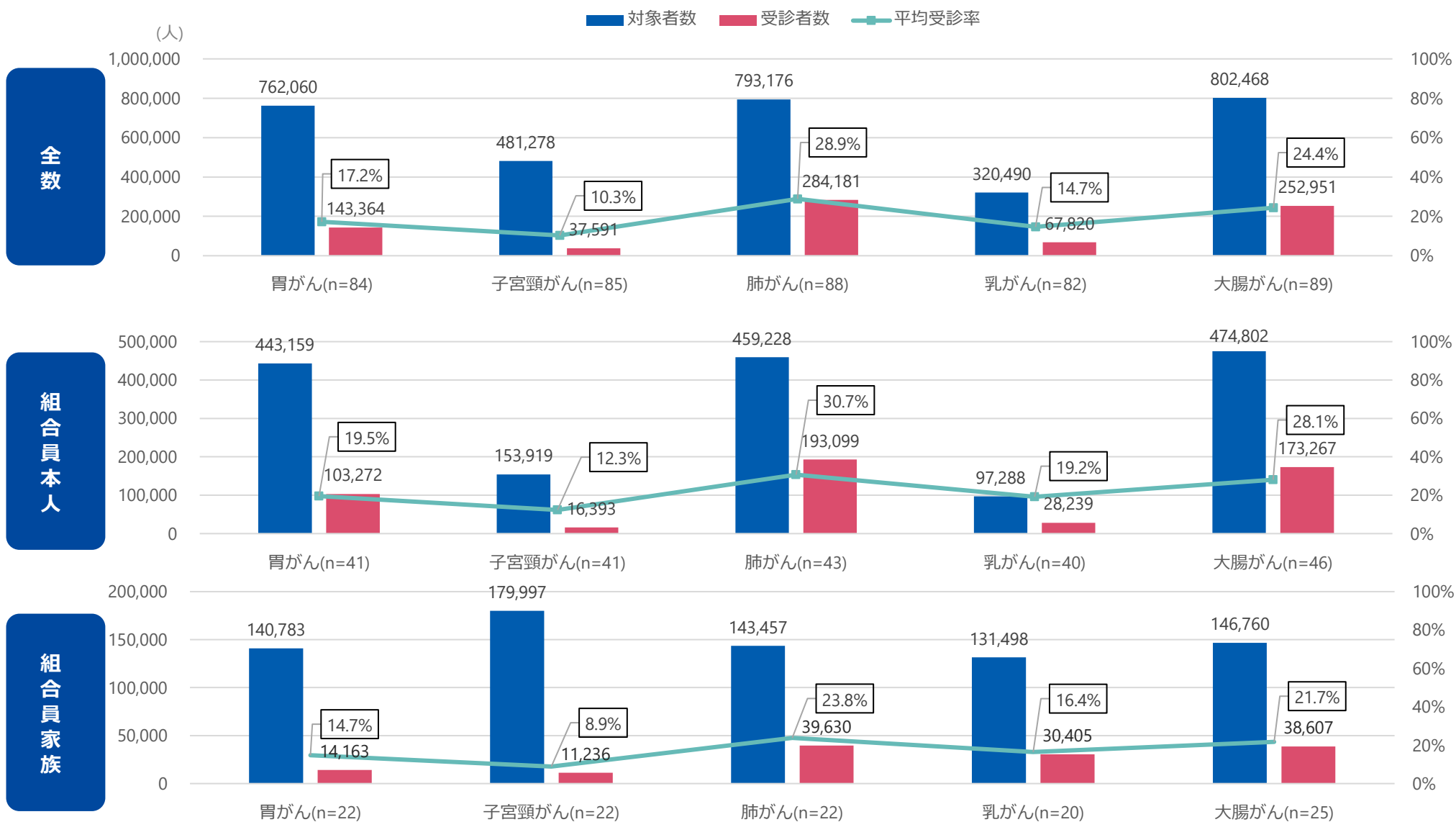
- ・ がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数・受診者数いずれも回答している保険者のみを集計対象とする
- ・ がん種別ごとに定義と異なる方法で集計した（と備考欄で申告している）保険者は除外。また、がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数がゼロの保険者は除外。

がん検診の対象者・受診者数（共済組合）



- ・ がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数・受診者数いずれも回答している保険者のみを集計対象とする
- ・ がん種別ごとに定義と異なる方法で集計した（と備考欄で申告している）保険者は除外。また、がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数がゼロの保険者は除外。

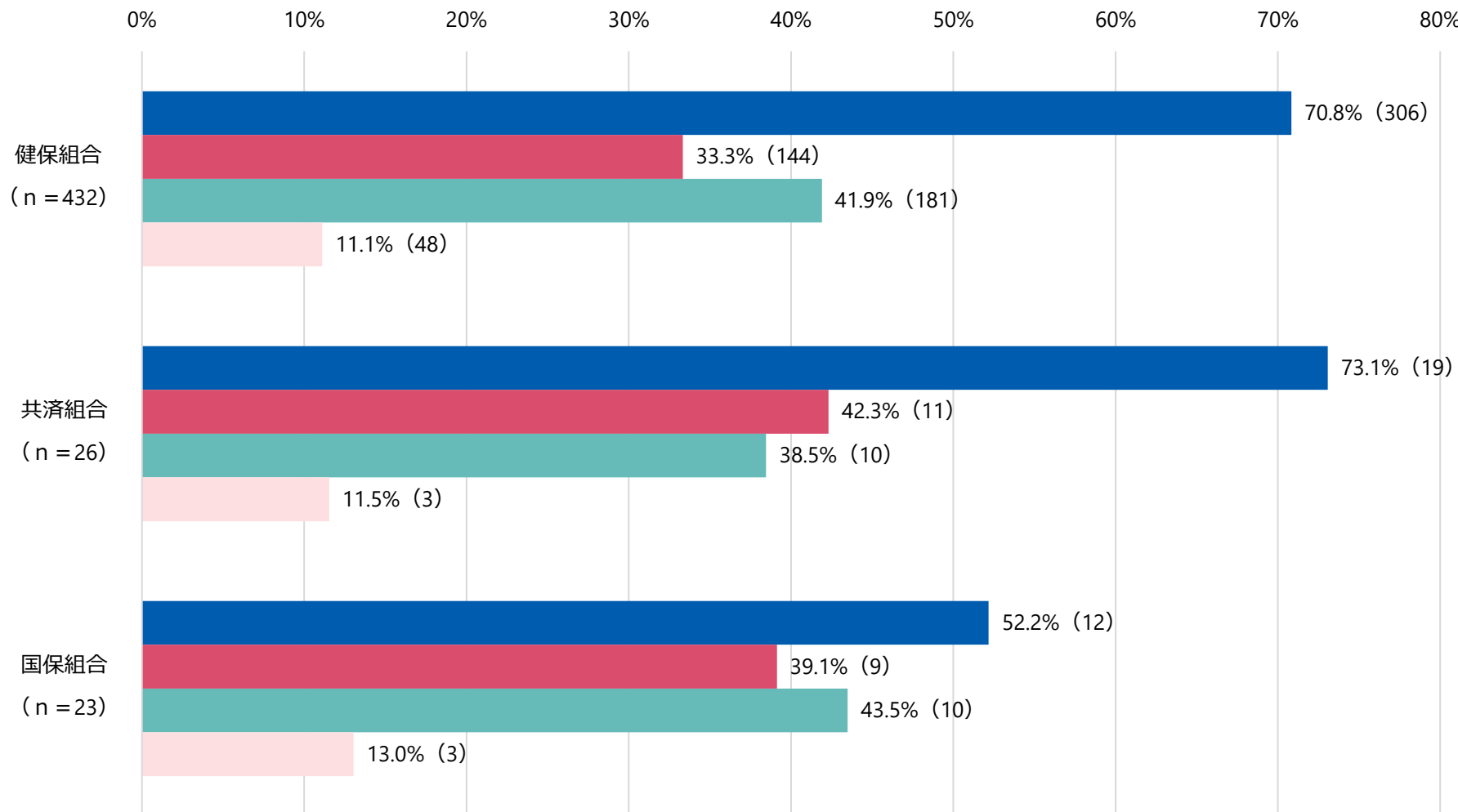
がん検診の対象者・受診者数（参考：国保組合）



- ・ がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数・受診者数いずれも回答している保険者のみを集計対象とする
- ・ がん種別ごとに定義と異なる方法で集計した（と備考欄で申告している）保険者は除外。また、がん種別ごと・集計属性ごとに対象者数がゼロの保険者は除外。

がん検診を実施しているが対象者数を記載できない理由（保険者種別内訳）

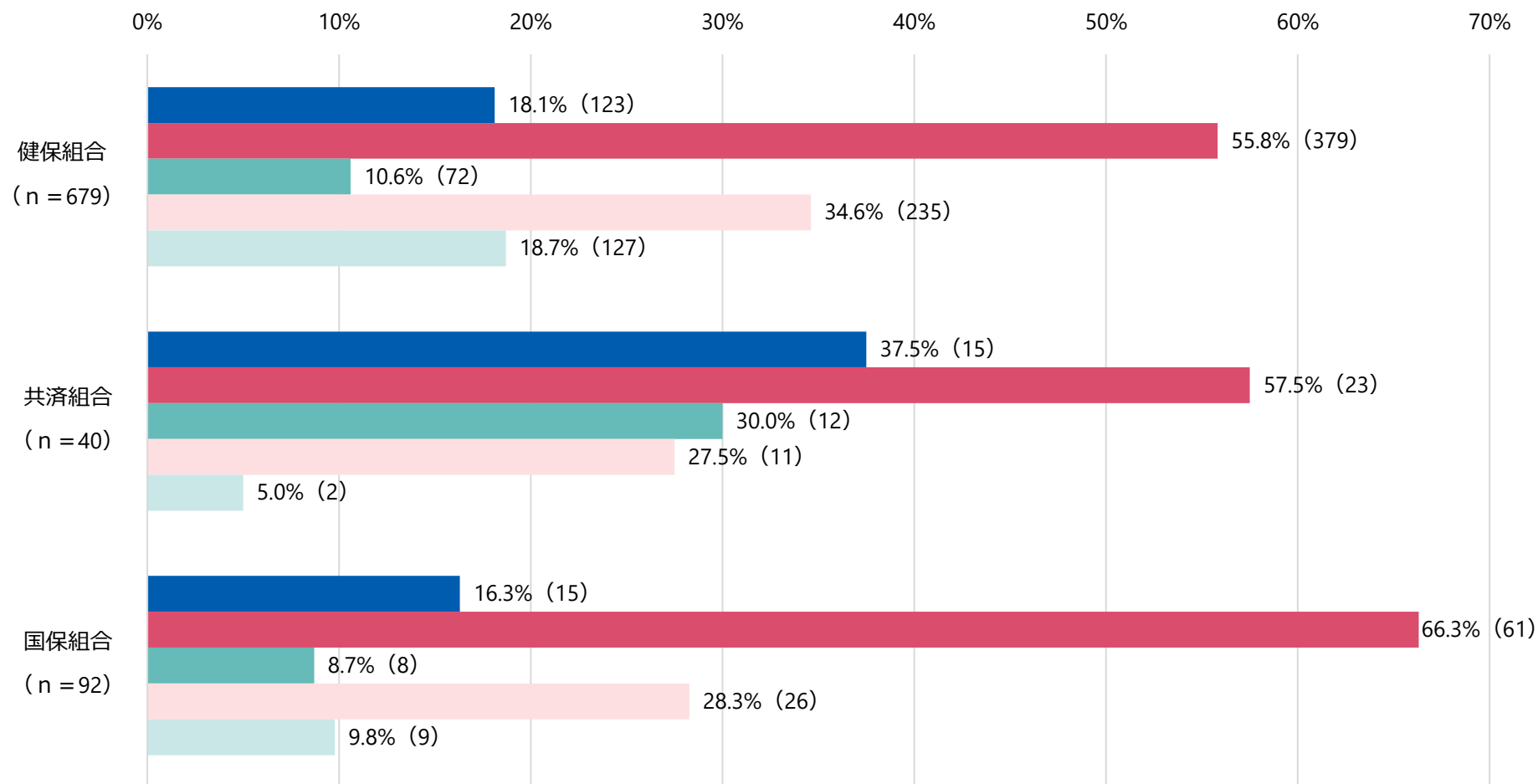
- 対象者数を把握する仕組み（システム等）がないため
- 独自の条件で対象者を決めており、集計定義に基づく算出ができなかったため
- 任意による受診であり、対象者数を把握する必要がないため
- その他



（参考）

要精密検査となった者を把握していない理由（保険者種別内訳）

- 検診実施機関・代行機関等が、保険者に検診結果を報告していないため
- 精密検査受診の判断は精密検査の対象者に任せているため
- 個人情報の取り扱いに不安があり、がん検診結果を収集していないため
- 要精密検査対象者の把握にコスト（人的・財政的）がかかるため
- その他



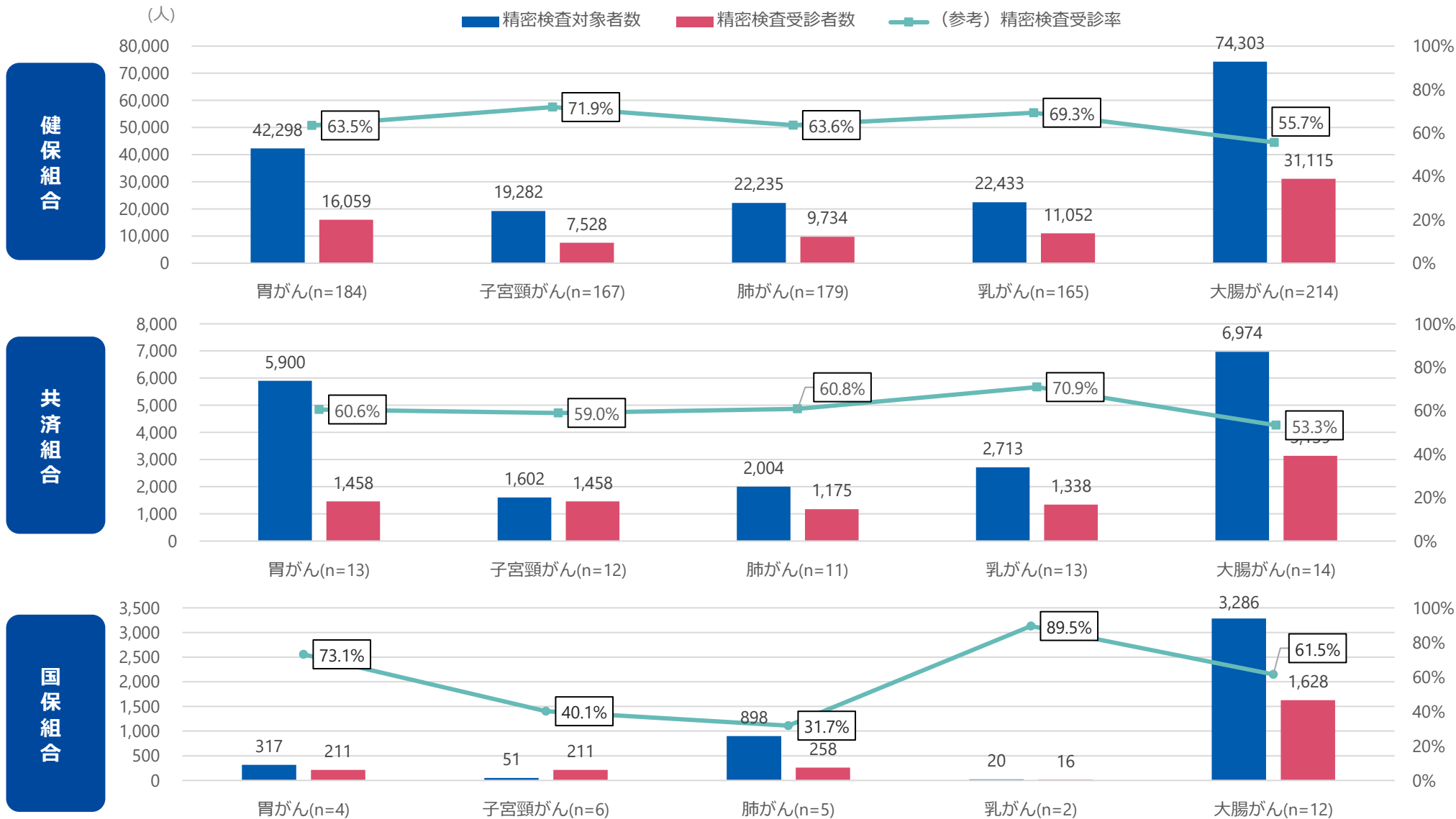
（参考）

がん検診の要精密検査対象者数（保険者種別内訳）



・ がん検診の結果から要精密検査となった者を把握している保険者のうち、がん種別ごとに対象者数・受診者数・精密検査受診者数いずれも記載している保険者のみを集計対象とする
 ・ 要精密検査率は、集計対象の保険者およびそのがん種別ごとにおいて、精密検査対象者数をがん検診受診者数で除した値の単純平均。なお、100%を上回った保険者は除外。

がん検診の精密検査受診者数（保険者種別内訳）



・ がん検診の結果から要精密検査となった者の受診状況を確認している保険者のうち、がん種別ごとに対象者数・受診者数・精密検査対象者数・精密検査受診者数いずれも記載している保険者のみを集計対象とする。